

「大台町の子どもたちのより良い教育環境を考える」

アンケート調査

調査結果報告書

【保護者】

令和7年12月

大台町教育委員会

目 次

1. 調査目的及び調査方法

(1) 調査目的

(2) 調査方法

2. 集計結果

(1) 自分のことについて

(2) お子様について

(3) 町内の小学校について

(4) 町内の中学校について

1. 調査目的及び調査方法

(1) 調査目的

本町では、児童生徒数の減少や校舎の老朽化がみられ、将来に向けて町内の小中学校をどのようにしていくことが大切なのかを考えることが必要となってきました。

大台町立小学校の適正配置、子どもたちのより良い教育環境を検討していくため、令和7年度から「大台町立小学校のあり方検討委員会」を設置し、今の町の現状や小学校の状況を踏まえて検討を進めているところです。

また、中学校については、地域の方や保護者の方との懇談会を行いながら、今後について検討しています。

本アンケートは、大台町立小学校の今後のあり方について、皆様のご意見を検討委員会に届けるために実施いたします。

(2) 調査方法

① 調査対象：保護者

◆ 調査期間：令和7年7月14日から令和7年8月8日
令和7年9月1日から令和7年9月15日

◆ 調査対象者：保育園保護者、小学校保護者、中学校保護者

◆ 調査方法：オンラインによる回答、紙媒体による回答

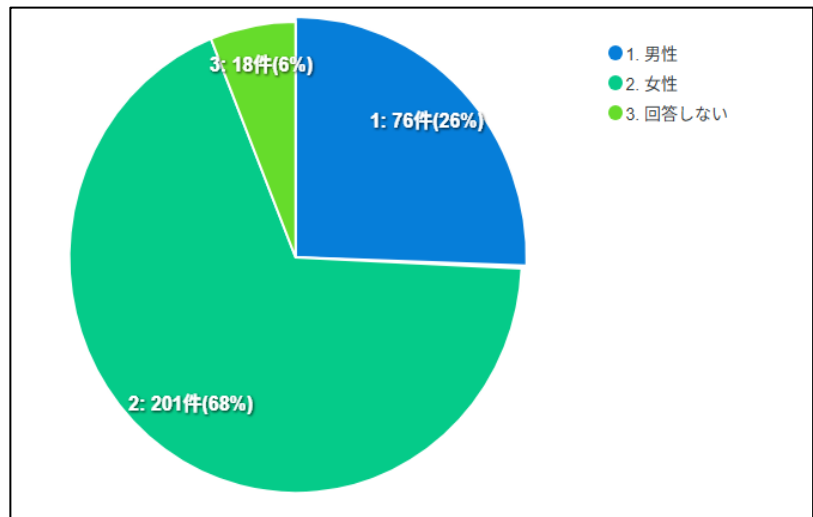
◆ 回収率：55.6%（配布531名、回収295名）

2. 集計結果

(1) 自分のことについて

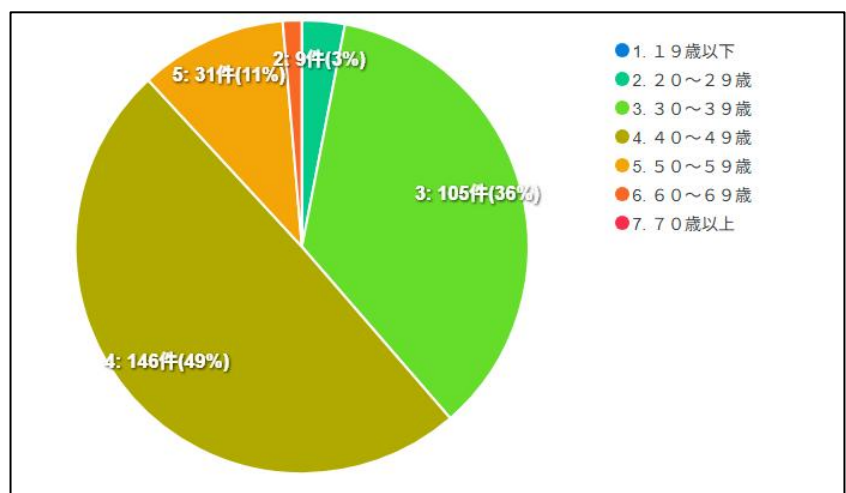
問1 性別

全体では、「女性」が 68.0%、「男性」が 26.0%、回答しないが 6.0%となっています。



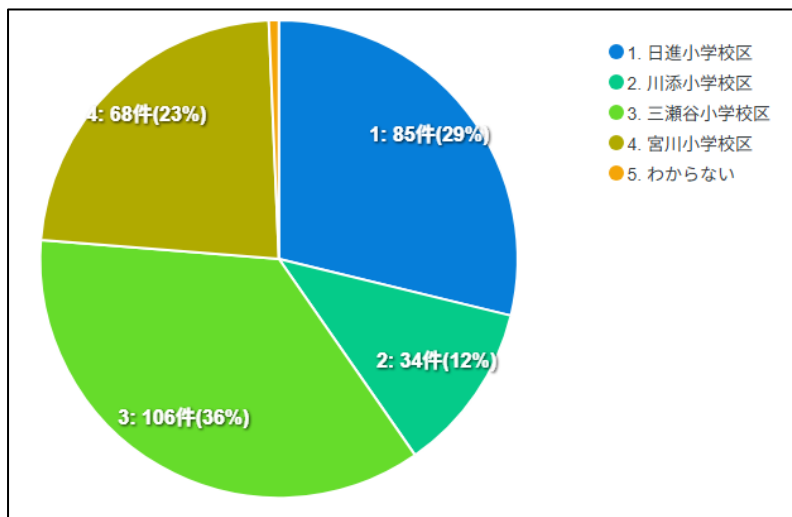
問2 年齢

全体では、40歳～49歳以上（49%）が最も高く、以下、30歳～39歳（36%）、50歳～59歳（11.0%）と続いています。



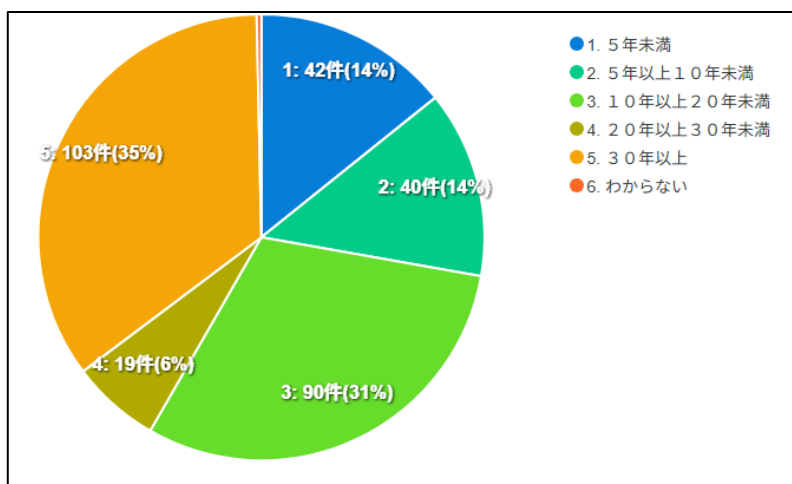
問3 住んでいる小学校区

住んでいる小学校区で見ますと、三瀬谷小学校区（36％）が一番多く、続いて、日進小学校区（29％）、宮川小学校区（23％）、川添小学校区（12％）と続いています。



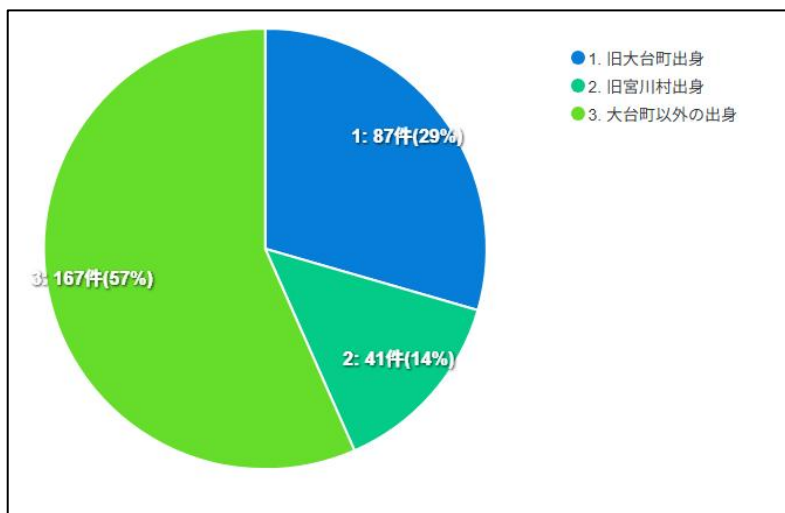
問4 大台町にお住まいになられて、約何年になられますか。

大台町に住んでからどれくらい経つかについては、30年以上（35％）が最も多く、続いて10年以上20年未満（31％）、5年未満（14％）・5年以上10年未満（14％）と続き、20年以上30年未満（6％）が最も少なくなっています。



問5 あなたの出身地はどこですか。

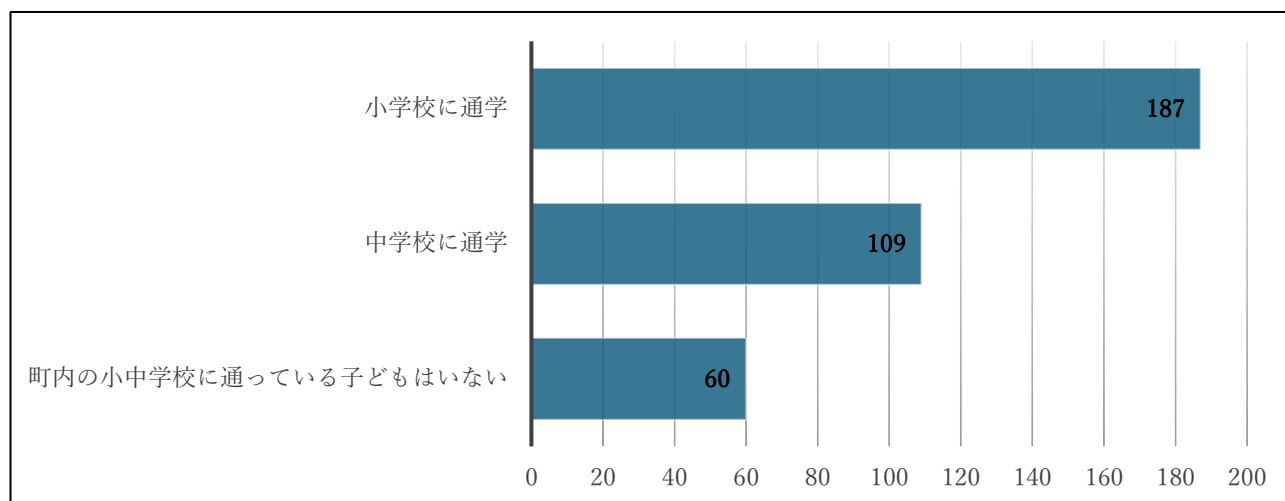
出身地で見ますと、大台町以外の出身（57％）が最も多く、旧大台町出身（29％）、旧宮川村出身（14％）と続いています。



(2) お子様について

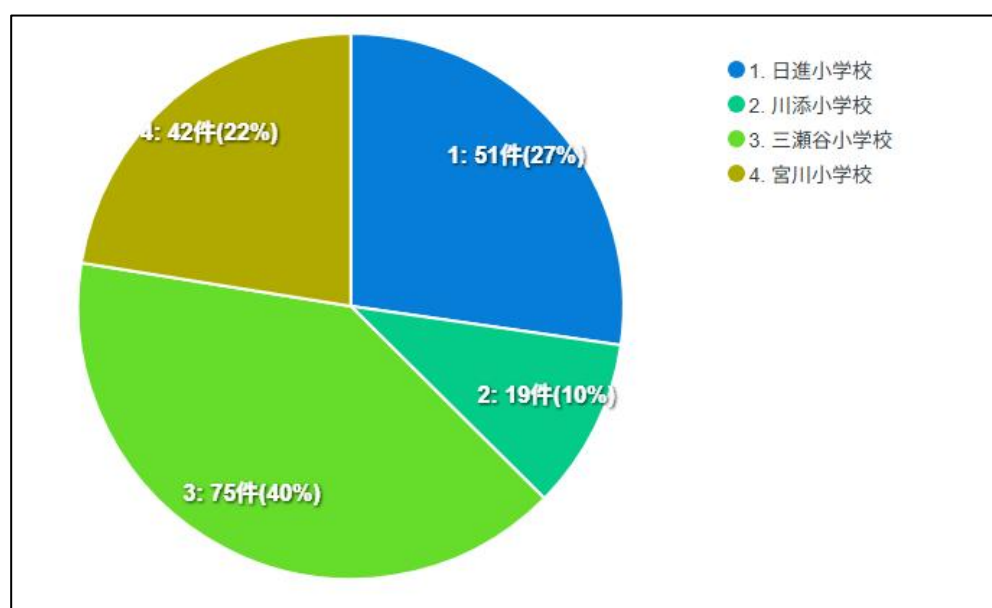
問6 現在、お子様は、町内の小中学校に通われていますか。

小学校に通学（187件）が最も多く、中学校に通学（109件）、町内の小中学校に通っている子どもはいない（60件）と続いています。



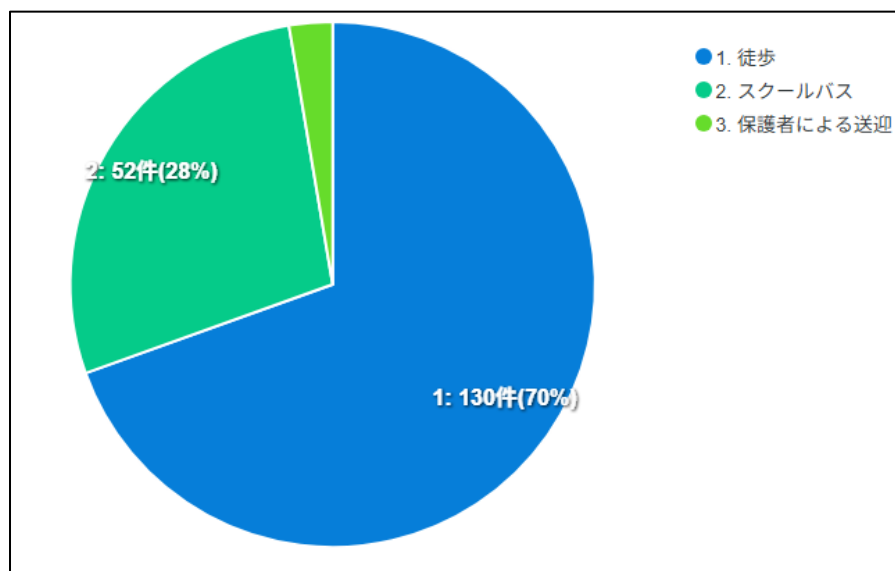
問7 現在、町内の小学校に通われているお子様をお持ちの方にお聴きいたします。
現在、どの小学校に通われていますか。

通っている小学校別で見ますと、三瀬谷小学校（75件）が最も多く、日進小学校（51件）、宮川小学校（42件）、川添小学校（19件）と続いています。



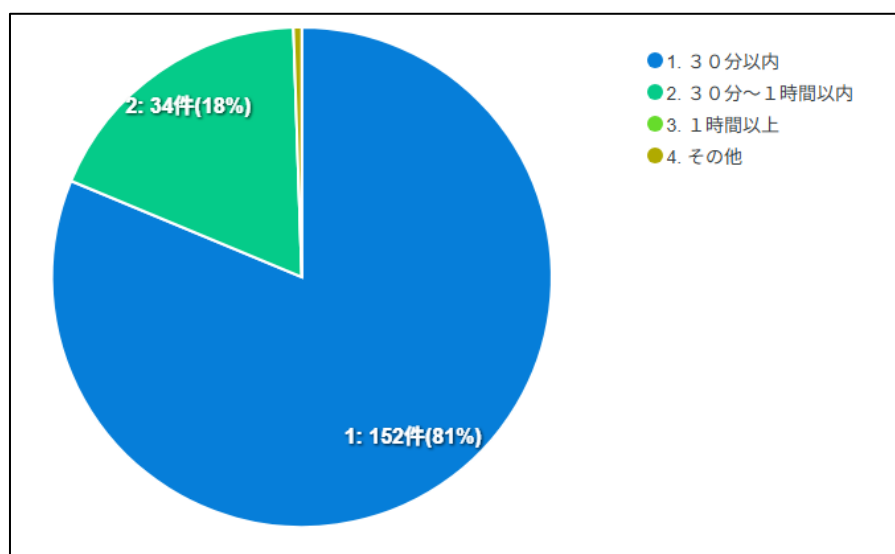
問8 現在、町内の小学校に通われているお子様をお持ちの方にお聴きします。
現在、どのような方法で小学校に通われていますか。

小学校への通学方法については、徒歩（130 件）が一番多く、続いて、スクールバス（52 件）となっています。



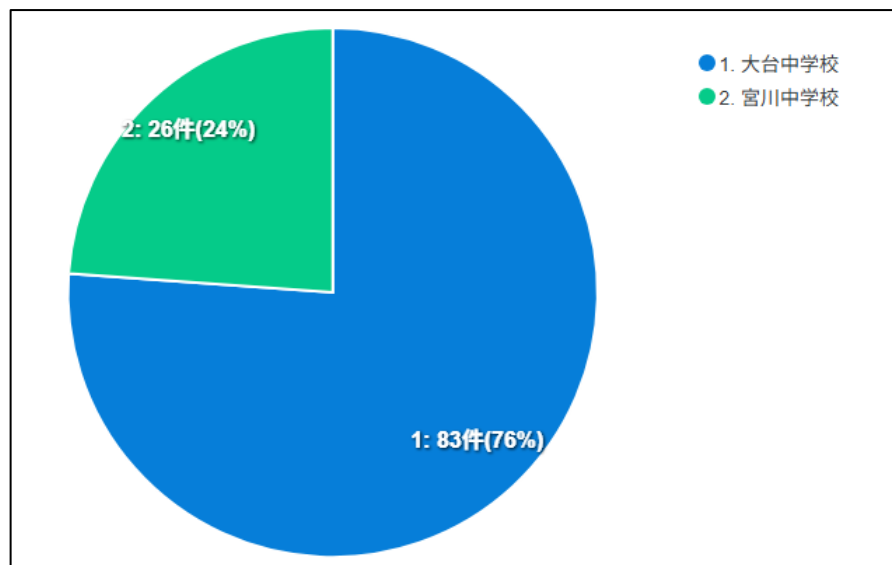
問9 現在、町内の小学校に通われているお子様をお持ちの方にお聴きいたします。
通学の時間は、どれくらいになりますか。

小学校に通学している児童の通学にかかる時間は、30 分以内（152 件）が最も多く、続いて、30 分から1 時間以内（34 件）となっています。



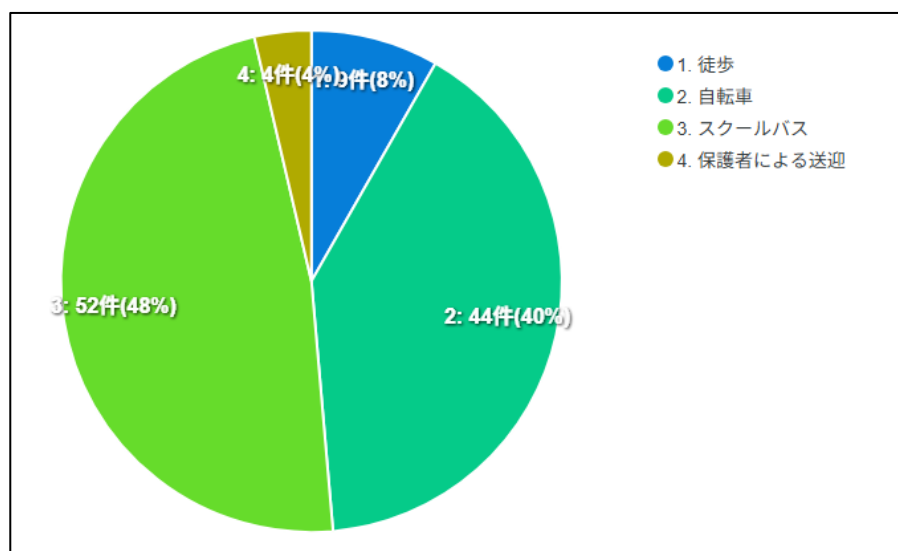
問１０ 現在、町内の中学校に通われているお子様をお持ちの方にお聴きいたします。現在、どの中学校に通われていますか。

通っている中学校別で見ますと、大台中学校（83 件）、宮川中学校（26 件）となっています。



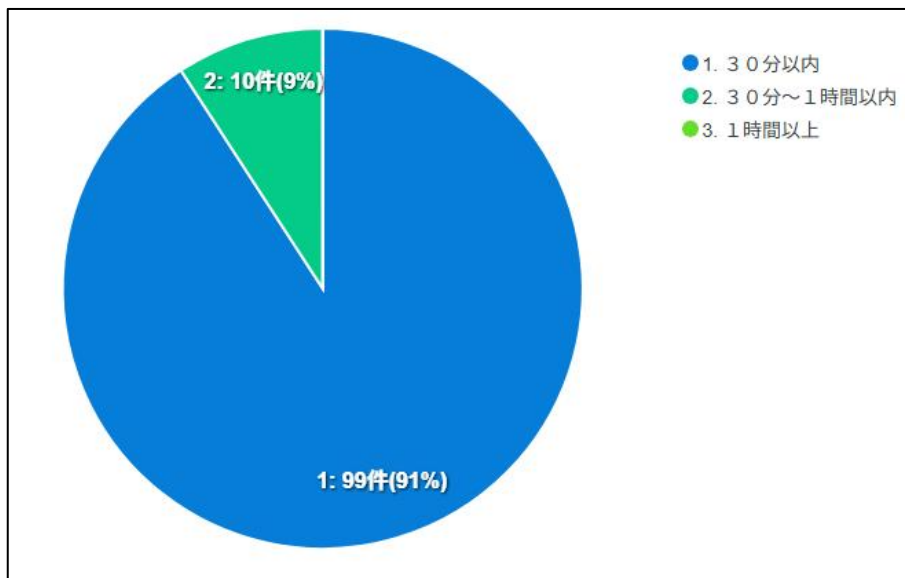
問１１ 現在、町内の中学校に通われているお子様をお持ちの方にお聴きいたします。現在、どのような方法で中学校に通われていますか。

中学校への通学方法については、スクールバス（52 件）が一番多く、続いて、自転車（44 件）、徒歩（9 件）、保護者による送迎（4 件）となっています。



問１２ 現在、町内の中学校に通われているお子様をお持ちの方にお聴きいたします。通学の時間は、どれくらいになりますか。

中学校に通学している生徒の通学にかかる時間は、30 分以内（99 件）が最も多く、続いて、30 分から 1 時間以内（10 件）となっています。



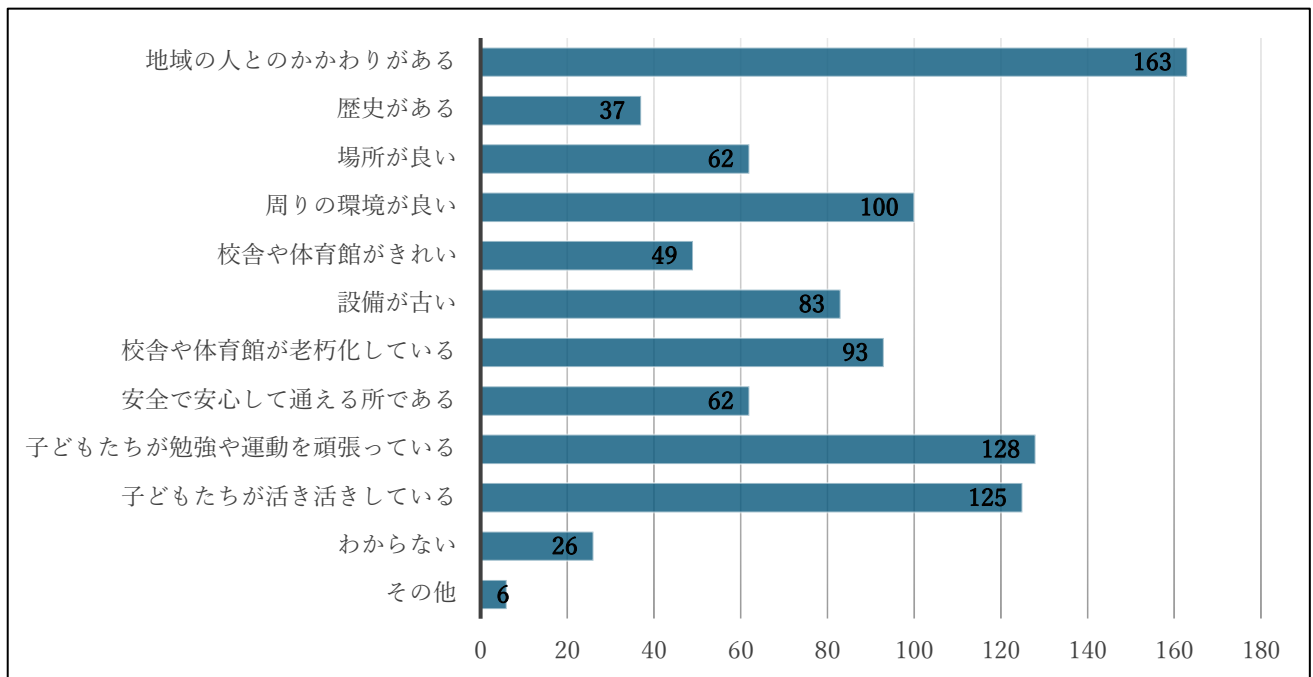
(3) 町内の小学校について

問13 あなたの地域にある小学校をどのように思われていますか。

地域の小学校は、まず「地域の人とかかわりがある」(163件)、「子どもたちが活き活きしている」(135件)、「勉強や運動を頑張っている」(128件)といった点が大きな強みです。学校と地域がつながり、子どもたちが前向きに学んでいる様子が伝わります。さらに、「まわりの環境が良い」(100件)、「場所が良い」(62件)、「安全で安心して通える」(62件)など、通学や日々の生活にとっての安心感も一定の評価を受けています。

一方で、「校舎や体育館が老朽化している」(93件)、「設備が古い」(83件)という指摘が目立ち、施設面の改善が必要です。ただし「校舎や体育館がきれい」(49件)という声もあり、学校ごとに状態に差がある可能性があります。「歴史がある」(37件)は少数ですが、地域の誇りとしての価値は残っています。

まとめると、子どもと地域のつながりや学ぶ意欲といったソフト面は強みです。今後は、この良さを守りながら、安全性と学習環境を高めるため、学校ごとの状況に応じた計画的な改修・更新を進めることが重要です。



■問13 自由意見

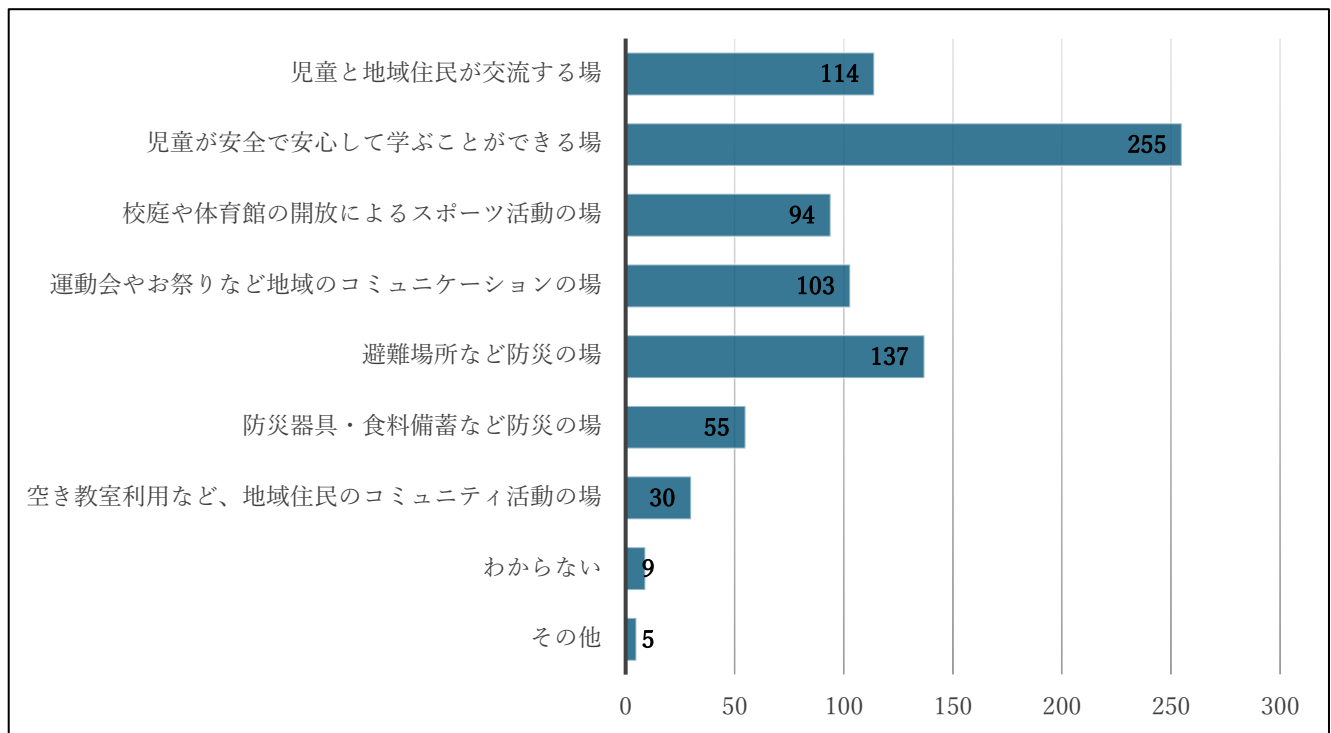
- 今後の学校生活に、色々な不安があります。人数もそうですし、統合しても、通学時間や部活動がどんどんなくなるのではないかと、また、学校や学童も視野がせまく感じています。(宮川小校区)
- 体育館やプールがきれい。(三瀬谷小校区)
- 保護者が学校に対して協力的であると思う。
- おしゃれな校舎だと思う。宮川の木が上手に使われている。(宮川小校区)
- いつまでたってもバス通学にしてくれない。(三瀬谷小校区)

問14 あなたの地域にある小学校の役割として、どのようなことをお考えですか。

大台町の小学校に最も強く期待されているのは、「児童が安全・安心に学べる場」（255件）で、まずは授業の質や学習環境の充実が何より重要だと分かります。

次に多いのは「避難場所など防災の場」（137件）で、学校が災害時の拠点になることへの期待が大きいです。

さらに、「児童と地域住民の交流の場」（114件）や「運動会・祭りなど地域のコミュニケーションの場」（103件）も支持され、学校が地域のつながりを生む場所として見られています。「校庭・体育館の開放」（94件）も一定のニーズがあり、健康づくりや世代交流に役立つと考えられています。一方、「防災器具・食料備蓄」（55件）や「空き教室のコミュニティ利用」（30件）は比較的少なく、運用の負担や体制への不安が影響している可能性があります。「わからない」（9件）は少数で、多くの住民が学校の役割を具体的にイメージしていることがうかがえます。結論として、まず教育の質を核に、次に防災機能と地域交流を段階的に高める方針が有効です。

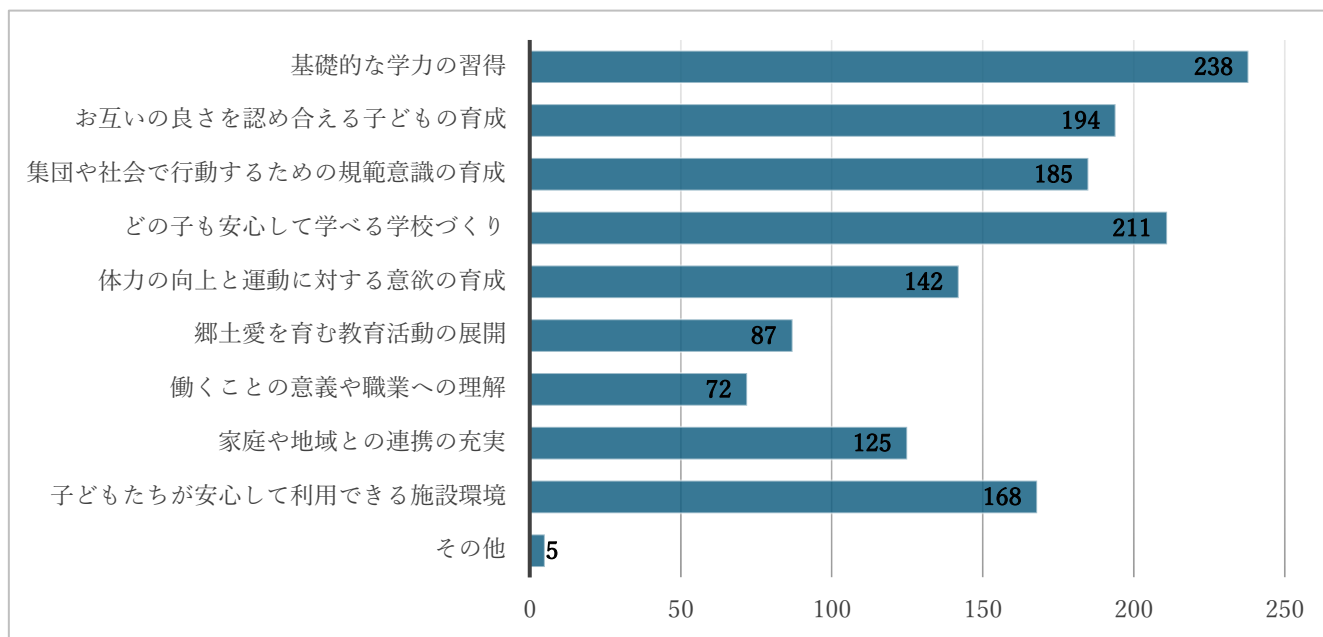


■問14 自由意見

- 役割等、大人の言い分は関係ない。子供達第一。様々な価値観、多様な選択肢、教育を受ける権利を最大限にしてやるのが行政の役目。（三瀬谷小校区）
- 教育や防災の場として安心安全な場所であってほしいが、現在の川添小学校の場所は、すぐ裏に山があり土砂崩れの心配があり、安心安全な場所と言えず不安がある。（川添小校区）
- 勉強の環境が充実している〔エアコンの完備など〕（宮川小校区）
- 児童が勉強・スポーツに励むことができる充実した施設であること。（川添小校区）
- 子どもたちが自分らしくいられて、様々な新しいことに挑戦したり、新たな世界に入っていくたり、失敗から学ぶと安心して失敗できる場所。（宮川小校区）

問15 これからの大台町立の小学校教育において、大切だと思われることは何ですか。

大台町の小学校で大切にしたいのは、「学力」と「安心して学べる環境」の2つです。最も多かった「基礎的な学力の習得（238件）」は、読み書き計算や考える力をしっかり育ててほしいという強い願いを示します。次に多い「安心して学べる学校づくり（211件）」や「互いの良さを認め合う育成（194件）」は、いじめのない、誰もが受け入れられる雰囲気づくりが学びの土台であることを示しています。「規範意識（185件）」や「安全に使える施設（168件）」は、基本的なルールと安全な校舎・設備の整備が必要という声です。「体力向上（142件）」は、日々の運動や生活リズムの見直しが鍵になります。数はやや少ない「家庭・地域との連携（125件）」「郷土愛（87件）」「職業理解（72件）」も、大台町の自然や地域の人材を生かした体験学習で伸ばせます。まとめると、基礎学力を核に、安心・尊重の校風、安全な施設、規範と体力づくりを組み合わせ、地域とつながる学びへ広げることが重要です。



■問15 自由意見

- 大台町ならではの自然を活かした教育方針や移住のキッカケになるような魅力的な内容、小規模の良さを伸ばしていく。
- 生徒数が少ないがゆえの子ども達の素質や能力を伸ばすことができる施設環境作り。
- あいさつをしても返ってこないの、基本的な常識を教えてほしい（家庭で教えることですが。）
- 地方だからこそ、通信教育やプログラミング教育など、先進技術を積極的に使い、先を見据えた教育。地域の有機食材を使った有機給食の提供や有機野菜の栽培などの食育。子ども達に大台町の問題点やどうしたら今後発展していくのかを考えさせる授業の導入など。
- より多くの生徒により、価値観の違い、多様性を知る。部活動の選択肢を増やす事ができる。

問１６ 子どもたちのより良い教育環境を考えた時、特に大切にすべきと考えていることは何ですか。

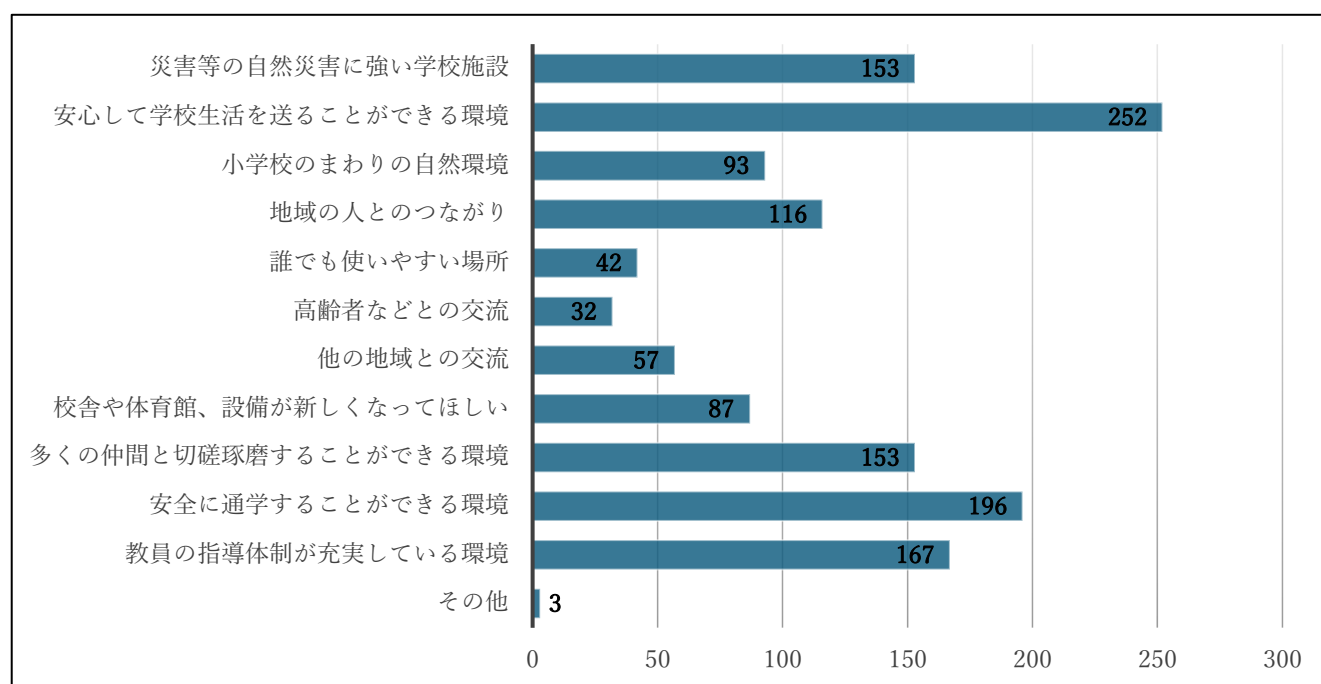
大台町の教育環境に関する意識では、まず、「安心して学校生活を送れる環境」（252件）が最も重視されています。いじめやトラブルの不安が少なく、落ち着いて学べる雰囲気づくりが強く求められています。

次に「安全に進学できる環境」（196件）や「教育の指導体制の充実」（167件）が続き、基礎学力の定着や個別最適な指導、進路相談の充実など、学習面の支えが重要視されています。

また、「災害に強い学校施設」（153件）と「多くの仲間と切磋琢磨できる環境」（153件）も同程度に高く、自然災害への備えと、適切な集団規模の確保が課題であることがわかります。

一方で「周辺の自然環境」（93件）や「校舎・設備の更新」（87件）、「他地域との交流」（57件）、「誰でも使いやすい場所」（42件）、「高齢者との交流」（32件）は相対的に優先度が低めですが、学びの広がりや地域とのつながり、学校の魅力向上に貢献します。

総じて、安心・安全と学力保障を柱に、災害対応力の強化と交流機会の拡充を合わせ、地域資源を生かして魅力ある学校づくりを進めることが重要です。



■問１６ 自由意見

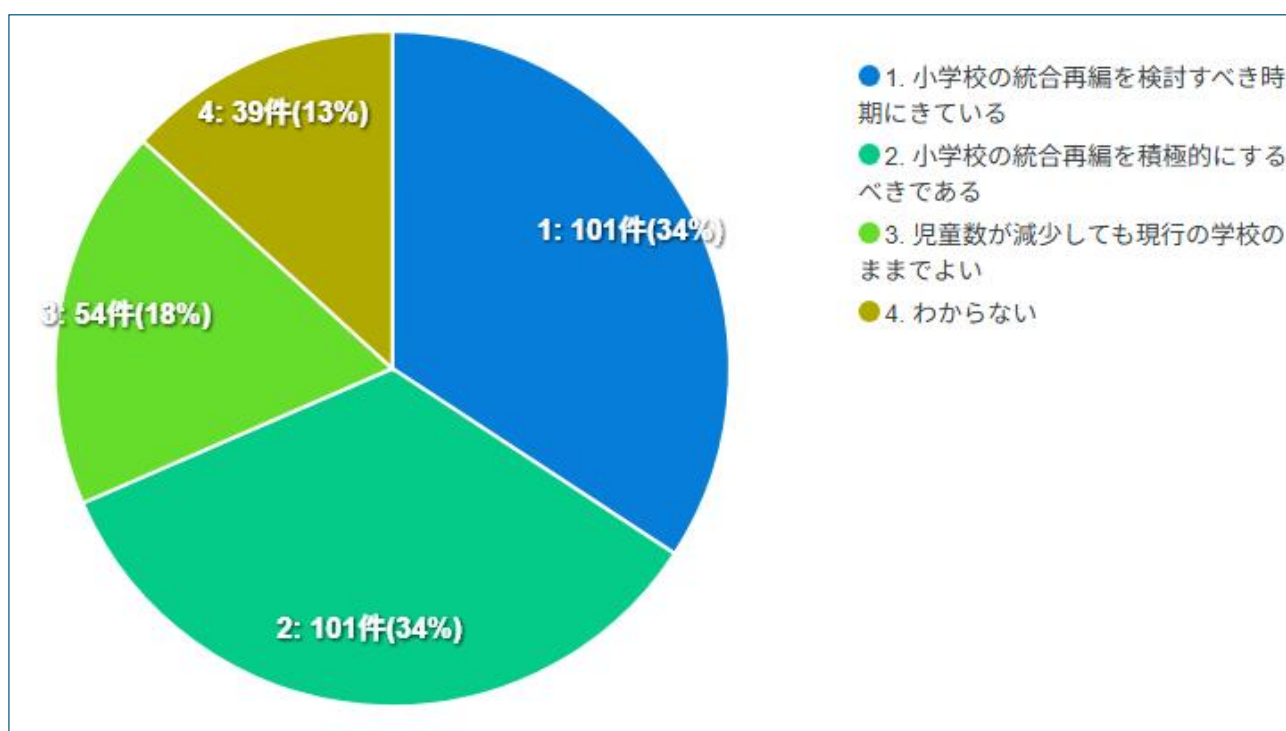
- 有機給食などの食の安全。未来を見据えた教育として、通信教育やプログラミング教育などの先進技術を積極的にとり入れた授業。
- 移住者を差別したりしない環境
- 家庭での家族との関わり、保護者への指導

問１７ 町内の小学校の児童数が減少しています。児童数の減少への対応として望ましいと思われるものはどれですか。

大台町の小学校の今後については、「統合を検討すべき時期」「統合を積極的に進めるべき」がそれぞれ 101 件で、合わせて過半数となりました。多くの人々が、児童数の減少に対応するため、統合という選択肢を前向きに考えていることが分かります。

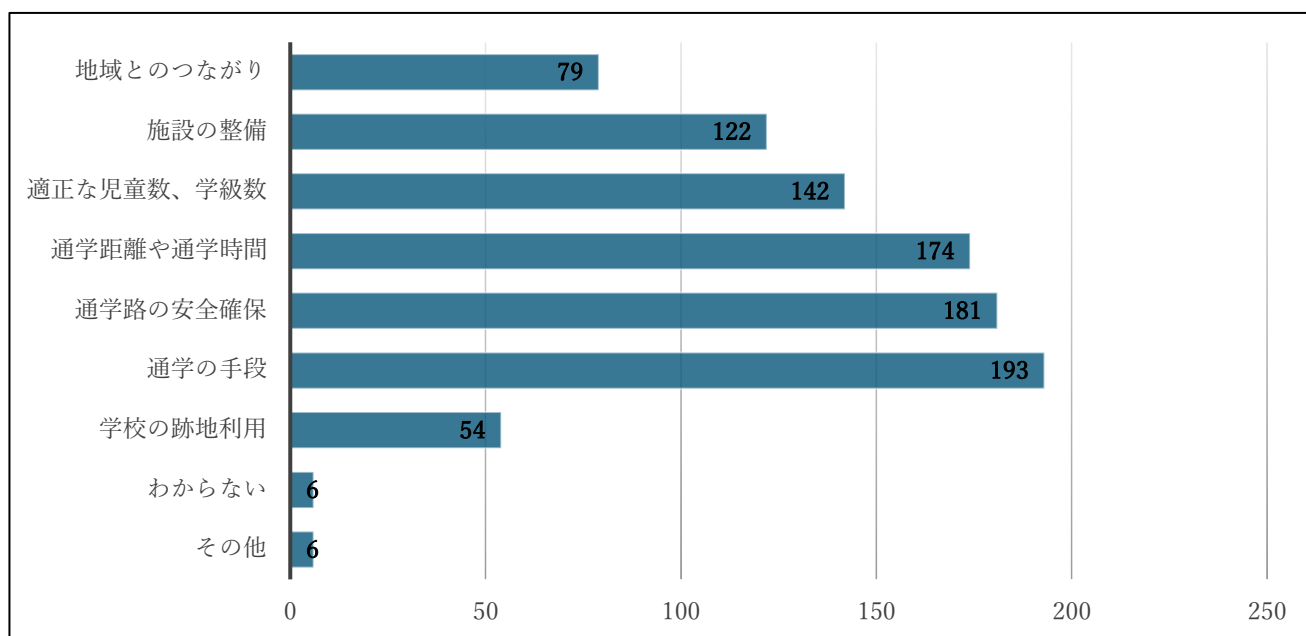
一方で、「今のままでよい」54 件、「わからない」39 件もあり、現状維持や判断保留の声も無視できません。統合により、教職員の配置がしやすくなる、学習機会や活動の幅が広がるといった期待がある一方、通学距離の増加や地域のつながりの弱まり、移行の不安などの懸念もあります。

今後は、具体的な統合の案、費用や効果の見通し、通学支援、学校跡地の活用などを分かりやすく示し、住民の疑問に丁寧に答えながら、合意形成を進めることが大切です。



問１８ もしも小学校が統合再編されとした場合、特に重視すべきことはなんですか。

統合で住民が最も気にしているのは、子どもたちの「通学」に関することです。中でも「通学の手段」（１９３件）、「通学路の安全」（１８１件）、「通学距離や時間」（１７４件）が上位で、安心して無理なく通える仕組みづくりが最優先だと分かります。次に多いのが「適正な児童数・学級数」（１４２件）で、友だち関係や学習機会を確保し、落ち着いて学べる環境を望む声が強いと言えます。「施設の整備」（１２２件）も重視されており、校舎や特別教室、ICT、バリアフリーなどの充実への期待が見られます。「地域とのつながり」（７９件）は数は少なめでも、統合で薄れがちな地域性を守りたいという大切な視点です。「学校の跡地利用」（５４件）は中長期の課題として関心が分かれました。「わからない」（６件）は情報が足りないサインです。まとめると、通学の安全・負担軽減、適正規模、施設の質を優先しつつ、地域連携の具体策と分かりやすい情報提供が鍵になります。



■問１８ 自由意見

- 学校の魅力化をはかり移住促進に繋げたり、学童活動を学校の中に取り込み働く親も安心して預けることができたり、統合を検討する前にできることがあると考えています。
- 教員の指導体制の充実した環境。
- 地域それぞれに、既にグループが出来ているであろう子どもたちの精神的なケア、最初の２、３年は学校それぞれの学力の差をどうすり合わせるか。
- 複式学級にならないこと、人数が足りないためにできないスポーツがないなど、子供の可能性を妨げることがないように早急に対応してほしい。ゆっくり検討している間に、今の子ども達は大事な学ぶ時期を逃してしまう。
- 社会に出ていく上で人数が増えることで子供たちのコミュニケーションをより多くの子どもたち同士で取るべきだと思う。
- 教育指導、充実した教育

問19 もしも小学校が統合再編されとした場合、大台町全体のことを考えた時や通学距離などを考えた時、現在の4小学校をどのように統合再編することが望ましいと思われますか。

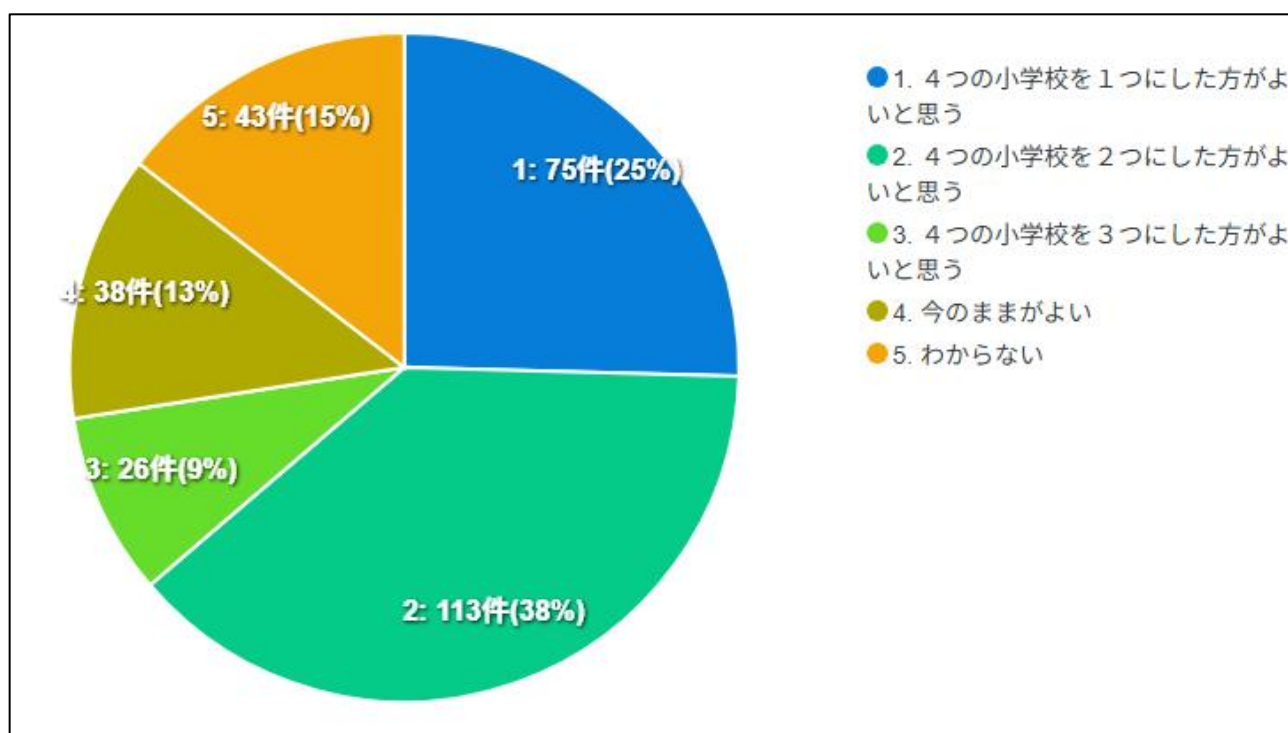
今回のアンケートでは、小学校の統合について「4校を2校に」が113件で最も多く、「4校を1校に」が75件と続きました。「4校を3校に」は26件、「今のまま」は38件、「わからない」は43件でした。つまり、多くの方が何らかの統合には賛成で、その中でも2校案が一番受け入れやすいと考えられていることが分かります。

2校案は、学年や学級の安定、行事や部活動の選択肢が増えるといったメリットと、通学距離や地域のつながりへの配慮を両立しやすいと受け止められているのでしょう。

1校案が次に多いのは、施設や人材を集約して教育環境を充実させたいという期待が背景にある一方、通学負担や地域の学校がなくなる不安も影響していると考えられます。

「今のまま」や「わからない」が一定数あるのは、具体的な通学方法・時間、スクールバスの運行、地域行事の継承などが見えにくいことが理由かもしれません。

今後は、通学シミュレーション、教育効果の見込み、地域拠点機能の残し方を分かりやすく示し、比較しながら丁寧に意見を集めていくことが大切です。



■問20 自由意見 問19で選んだ理由を教えてください

(4つの小学校を1つにした方がよいと思う)

- 維持管理、人件費が人数に見合うように。
- 児童数が減ってくるので、新しい施設を幾つも造るよりも一つにした方がよい。
- 人口減、町の財政を考えると選択肢は、小学校ひとつしかないのでは…。
- この先、更に減少していく事がわかっている以上、無駄な税金を使わない為にも1箇所を建て直し、子供たちが安心して過ごせる小学校を建てるべきだと思う
- 人口減少が加速しているなか、多くの子たちと学べる機会が必要。
- 大勢の中で切磋琢磨して育つことだと思います。
- 大台町内の教育の地域格差を無くす為。先生の充実した人数の確保。安全、安心のための設備投資としてカメラの設置など。課題として1番の課題は通学路、通学方法、通学時間。
- いずれ将来は、1つにしなくてはならなくなるのだから、今この機にってしまうべきである。1校にしても、松阪市や明和町の小学校の児童数に到底及ばないのだから、2.3校残す必要がない。
- 今後も生徒数の減少が目に見えているから。他者との交流を深めるという意味でも、町で一校としたほうがよいと思う。
- 4校を1つにしたとき、令和12年度に統合できていたとしたら、児童数が約220人ということで、一学年35人前後、学級数で言うと学年1ないし2学級の規模となる。一学級となる学年は、人数が上限ギリギリなので大変な面もあるが、それ以降の児童数の減少を考えると一学年20人から30人規模になるので、人数の面(適正規模)や充実した教育活動の推進という点でよいと思うから。
- 児童数が激減している中で、勉強どころかクラブ活動(団体競技)さえもままならぬ状況になってきている。また、どの学校も、今後老朽化が進む中で校舎をどうするか、どこに建設するか、議論がなされると思うが、これからの児童数を考え、2校建てるのではなく、他地区にはないようなスポーツ施設等も含め、総合的な教育施設のある学校を1校建設し、これからの子ども達の未来のための環境作りをするべきであると考え。以前から伝えてきているが、これだけ児童数が減り、まだまだ減少する中で、2校作るといった話は論外である。今後、大台町の人口や子どもの数が劇的に増える事は考えづらく、2校作ること自体、負の遺産を生む。大人の私欲でなく、子ども達の未来を考えた時、必然的に大台町の中心に1校建設し、統合を進めるべきである。
- 出来る限り多い人数で、学校教育を受けた方が、子どもたちの社会性がより身につくと思う。
- 子どもたちの社会性を育む、教員の充実をはかる。校舎や学童などの環境の充実をはかる。
- 児童数減少に伴い、学年を越えた子どもたちの交流が減少するから。教師の働き改革の一環においても、全校生徒数が少ない小学校に、教師が配置されるよりも、一校に生徒を集め、教師を配置した方が、生徒の学校生活等に、今以上に目が届き、子どもたちも充実した小学校生活が送れると考える。また、教師においても、担当などが分散され、働き方改革につながるのではないかと想像する。
- 生徒数も減少の一途で、町の財政も少なく、ランニングコストを減らした方がよいと思ったため。

- いずれの小学校も減少していく一方なので、統合するのならば、同時に4つの小学校を1つにした方がいいと思います。
- クラスの人数が少なくて、いじめがあった場合でも、ずっと同じクラスになってしまうから。クラス替えも必要だと思う。
- 幼保から中学校まで同じ人間関係、変化のない友人、高校などで大人数になった時や社会での人付き合いができない。子どもの頃より、多くの人と関わっていくべき。
- この先、児童数が増える見込みがないのなら、1校にして少しでもたくさんの友達が出来れば良いと思う。
- 子どもの人数が本当に少なくなってしまうと、子どものいろいろな経験や体験がなくなってしまうから。
- 生徒が少なすぎると、社会性が失われるのではないかと思う。いろいろな考え方の人間がいることを学ぶ機会を喪失している。学校施設への投資にしても、分散するよりも集中するほうが効率的であると思われる。
- 通学距離的には2つくらいがいいように思いますが、大台町の財政的にも1つの小学校にまとめて、スクールバスなど細やかに運行してもらった方がいいように思います。2つの小学校にして、将来、さらに、人数が減った時に結局1つは廃校です…となるのは無駄ですし、その議論を何度もするのも無駄に感じます。
- 今後、ますます児童数減となる。人数の多い環境で学ぶことが多いから。多様な学びの場であってほしい。
- 中学生のスクールバスも出ているので、小学生も同乗して乗れば良いと思う。
- より多くの生徒により、価値観の違い、多様性を知る。部活動の選択肢を増やす事ができる。子供達の教育を受ける権利を最大限引き上げるのが大人、行政のやくわり。
- 新しい学校を建てる。最近は暑さも危険を感じるから。バス通学の範囲を広げてほしい。
- 児童数が減少傾向なので、2つ以上の学校の建設のメリットがない。その分、設備や教育に力を入れてほしい。
- 児童数が減るなかで、子ども同士のつながりが多いほうが良いと考えます。少人数では、デメリットのほうが多く、年齢を重ねるにつれ、少人数で育った時の弊害（切磋琢磨する環境や社会性を育む環境の低下等）が現れるのではないかと思います。
- 少人数で、毎日学校で過ごすより、より多い人数で過ごす方が、色々な選択肢があり、生き生きとした学校生活が、1人でも多くおくる事ができると考えます、大人の事情ではなく、子供優先に考えるべき。
- 人数が少ないのはかわいそう。親意見だけでなく、子供の意見も聞いてあげてほしい。
- 児童減が加速するのは、誰の目にも明らかです。それは、何十年も前から分かっていることです。卒業生の母校愛や地域民のこだわりは、重々わかりますが、町の人口減少、財政を考えれば選択肢はないと思います。
- 遠からず、そうしないといけない時が必ず訪れるから、見据えて、早くから考えられる対応ができると良いと思う
- 大台町全体で考えるなら、1校にする方がいいと思います。今後、必ずこどもの数が減っていくので、2校、3校にしたところで、近い将来、統廃合の課題がまた出ると思う。学校の維持管理費用も、かなり掛かると考えますので、大台町の将来を考えるなら、1校にする方がいいと思います。

- 児童がコミュニケーション能力を高める為にも、ある程度の人数と接する事が必要。
- 高校になった時に、急に大人数の環境になるので、大人数に慣れていた方がいいと思うから。
- 小学生の通学時間も、日進から 30 分、宮川から通学する大半の子供も 30 分以内なので、不自由は無いことから、三瀬谷に 1 つで良い。大杉にも子供がいるようなので、通学時間は長くなるが、これから、ますます町の人口も減少し、いつまで子供が大杉に居続けるかもわからない状況の中で、そこに重きを置くべきではないし、一部の声の大きい者たちのつまらない村民感情に左右されて、間違った判断をすべきではない。大台町全体のことを考えるなら、この先何十年後には、更に人口が減ることがわかっているこの町が、将来も存続できるような賢い判断をするべきである。また、統合するのであれば、学校が減ったからといって、先生の数も減らすのではなく、少人数（15 人程度）のクラスにして、もっと優秀な先生を集めて、きめ細やかな教育をしていただきたい。現在の小学校では、一部の先生を除き、教育への熱が感じられず、ただただ、上下関係だけを重んじ叱りつけるだけであり、肝心の教育については、適当な対応だと感じる。
- 児童数が少なすぎるのは、親子共に、人間関係が難しくなると思います。クラス替えがあるのがベターだと思います。
- 同じ町内で、教育格差や経験値の差が生まれないように、一つの学校に統合されるのが望ましいと思う。
- 今後、何度も統合再建を検討するのは無駄。一度にできてしまってから、問題をその都度解決していく方が理にかなっているように思う。
- 全体的に児童数が減っているため、2~3 校にしても、またいつか統合の話が出てくるのでは？それならば、4 つを 1 つにして、予算をかけて新校舎を建築等したほうがいいのではと思います。
- 今後も、生徒の減少は加速することが予想されるので、町内に学校は 1 つあれば十分である。大紀町や度会町も 1 つにしているので、大台もすべき。
- 全体の数は減る一方であり、全国的に増えることは難しいと思います。この人数を、4 校でみていることが贅沢であり、一カ所に集まり、設備整備にかかる費用を集約して、環境整備に使ってほしい。
- 中学校がバス通学できているならば、統合しても問題ないと思うし、三重交通や JR といった公共交通機関の利用も検討してもよいと思う。熊野市で、小学生が路線バスを使っているのを見たから、難しくはないのではないかな。

（学校を 2 つにした方がよいと思う）

- 大台町は広すぎるので、一つでは、通学時間が子供の負担になる地区も出てくると思う。ただ、生徒数が少なくなるとできる行事や友達との関係が制限されるので、いくつかに統合したほうがいいのではないかな。保育園から一緒にメンバーで、人数が少ない学校は、問題も少ないのかと思っていたが、他の町の少人数の学校では、不登校も多いと聞く。一つの教室でも、いろんなグループが存在するぐらいの人数はいたほうがいいなと思った。
- 全てを統合するのは、通学時間がかかりすぎ、児童への負担も大きいと思うので、難しいとおもいます。大雨警報時の対処の違いもあります。
- 多すぎず少なすぎず、先生がみんなに目が行き届くような人数が望まれる。

- 宮川小学校を統合して一つにするのは、通学のことを考えると難しいと思います。残りの3小学校は、統合できるのであれば、統合するのがいいと思います。それなりの人数がいるなかで、子どもは育てられる方がいいと思います。
- いきなり4校から2校に減らすのは難しいのではないかと思います、まず2校にし、その後に、2校の検討をしてもいいのではないかと思います。
- それぞれにかかる費用削減に繋がる。老朽化もあるし、新しい校舎だと子供も保護者も安心。
- 児童数とコストを考えれば1つにすることが望ましいが、宮川地区は通学時間が長く、校舎も新しい方ではあり、あまり統合に前向きな意見を聞かないため、一度、三瀬谷、川添、日進を統合して、後に、コストを再計算してみる方がいいかと。
- 1つにしたほうが良いと思うが、通学距離や地域との関わりを密にしたいと考えると、日進・川添と、三瀬谷・宮川の2つにするのが良いと思います。
- 劇的に増える事は、現状考えられないので、将来的にも少なくなる児童数を考慮すると、まずは2つにしたいと思います。
- 1つにしてしまうと、通学距離、通学時間が子どもたちの負担になってしまうと思います。生徒数の割合を見ても、三瀬谷地区と宮川地区、日進地区と川添地区を統合した方がいい気がします。
- 児童が少なすぎることは、集団生活での規範意識が育ちにくいと思います。学校運営にかかるコストも、大きく下げられると思います。
- 校舎の老朽化、子どもの人数も減っているし、統合は仕方ないことかなと思います。人数の少ない川添小学校の子は、どこかの小学校にバスで行くことになりそうですが、安全面をしっかりと考えていただければと思います。バスの乗り降りや車との事故などが心配です。統合し人数が増えると、いろいろな性格の子がいるでしょうから、子どもたちの精神面でのケアもしっかりしていただきたいと思います。
- 宮川地区は、地域の繋がりが強いのと通学時間を考えるとこのままが良いと思う。また、旧大台地区は、宮川地区に比べると通学時間がかからないので、川添地区に一つ学校があれば良いと思う。
- 宮川小学校は、そのまま存続してほしい。建物も木がふんだんに使われていて、素晴らしく、宮川の象徴的で残したいと思う。もし、三瀬谷小学校へ統合してしまったら、大杉の端のところの児童は、かなり遠くなるので、朝が早く、労力にも影響するのではないかと心配。
- 毎日通うのだから、負担にならないように悩むところだと思う。学校の始業時間を考えるなら、1つにするのもいい場所があれば。
- 日進+川添、宮川+三瀬谷。通学距離等を考慮した結果。また、統合する際、元ある小学校を活用するのか、新しく校舎を建てるのかで、内容は変わってくるかと思います。中間位置に住まわれている方は、日進方面 or 宮川方面どちらか選べるなどの選択肢を設け、保護者が送迎しやすいように配慮してもらいたいと思います。
- 学校が遠くなるので、バス通学になる生徒が増えると思いますが、校舎も古くなってきて、生徒も減ってきているので、仕方がないのかなと思います。4つを1つにだと、通学距離があまりにも長くなるかなと思うので、せめて2つにと思いました。
- 本来、人数で考えると、一つに統合するのが良いと思いますが、宮川と日進は、かなり距離があるので、現実的に考えて、せめて二つにするのがよいかと考えます。

- 中学生になる前に、近場の友達同士の関係を深めたいが、人数が少ない為に、一定の決まった友達との関わりしか無い。その友達との反りが合わない場合に、子供が孤立してしまう。やがては、イジメ等に発展したりして、友達に気を使ってばかりの小学生生活を送ることになり、良い思い出として残らなそうに思う。ある程度人数がいれば、その点を緩和できるのではないかとと思う。とにかく、イジメ等がないようにしてほしい。その為に、イジメや差別などの人権学習をしっかりとしてほしい。
- 出生数が減ってきていることと老朽化の進む学校を考えると、多額のお金をかけ、学校何校も建てることには抵抗があります。その後、なにかに使えるような学校にできたら、とても良いと思います。母校がなくなるのは、寂しいと思います
- 日進地区と宮川地区では、通学時間に差が出ます。三瀬谷と宮川、日進と川添の組み合わせなら、子供達も通いやすいのではないかと思います。
- 2校に統合し児童数を多くして、様々な児童の中で多様性を学び、経験を増やしてほしい。
- 児童数を考えてみれば、1つにすることが一般的な社会情勢に適していると考えます！それに、光熱費や固定資産税などのコストの面を考えれば、圧倒的に学校を1つにすることが望ましい！しかし、宮川地区の通学時間が長いことについての声を聞くため、まずは、三瀬谷、日進、川添地区の統合を目指すのが最善と思います！また、宮川小学校は、他の小学校に比べてみても新しいので、最優先事項ではないと考えます！
- 児童の集約により、教員数の縮小を行い、内容の濃い効率的な指導を行える体制を築けるため。
- 小学校がなくなることにより、地域の活力が失われると思うので、極力なくさないでほしいが、令和12年の予測より、極端に減っていく予想なら、全体で1つでもいいと思う。
- 宮川や三瀬谷まではあまりにも距離がある。小学生で毎朝夕に負担が大きいし、バス通学とかで、寝ていて置き去りで亡くなったりする事故が不安。
- 人数、立地を考えた時に、日進と川添で統合し、また、三瀬谷と宮川で統合した、合計二つの小学校にまとめることが妥当だと思う。
- 大台町内で考えるなら、地理的な現実を踏まえて、日進小学校と川添小学校、また三瀬谷小学校と宮川小学校を、それぞれ統合するのが現実的だと考えます。しかしながら、今後さらに少子化が進んでいくなかで、大台町という一自治体の枠組みだけで、教育環境を維持・整備しようとする自体に無理があるようにも感じています。児童数の減少が明らかである以上、新たに学校を建設することは、財政的にも非常に厳しく、非現実的です。この問題は、大台町だけで完結するものではなく、多気町、大紀町、度会町など、近隣の自治体と連携して、将来的な教育の在り方を共に議論すべき段階に来ているのではないのでしょうか。教育は、地域の未来を担う子どもたちに関わる重要な課題です。町境にとらわれるのではなく、広域での視点を持ち、柔軟かつ現実的な議論が求められていると感じます。
- 人数が少ないことを活かすこともできるが、いろいろな人や友だち、仲間と接する機会があると、人間関係等学ぶ機会も増えると思うから。
- 距離的なことを考えて、宮川と三瀬谷、日進と川添を統合して2校が良いのではないかと、校舎も建築から60年経っているので建て替えも検討した方が良いのではないかと。
- 小学校一年生の子が居た場合、通学に時間がかかる事が負担になるような時間であれば、2つ。それを考慮できれば、この先1つで良い。

- 学校の運営にかかるランニングコストの削減と複式学級の解消を考えると、川添、宮川の両校を統合する事が望ましいのでは。
- 宮川は、大杉の方だと三瀬谷まで1時間近くかかるので、宮川は宮川のみ。三瀬谷・川添・日進で1つがいいかなと思います。人数としては宮川と三瀬谷、川添と日進の方がいいのかもしれませんが…。
- 4つの小学校が離れすぎているためです。現実問題、この先児童数が増えることはないので最終的には1つになると思いますが、子供・親・学校の負担を考えるともし統合するのなら2つがいいのでは…と思います。
- もし、一ヶ所に統合になった場合、遠くなる区が出てくるから。高学年ならスクールバスで通学可能かも知れないが、低学年は遠いのは可哀想だと思う。
- 通学の距離を考えると、4つを1つには、時間的に厳しい家庭も出てくると思うので、せめて、4つを2つにして、今よりも少しでも児童数が多い中で学校生活が送れることが理想です。
- すぐにできるのは、(今の中学校みたいに合併できる)3つの学校だが、宮川が合併するには、地域の反対意見もあるし、通学手段や時間に問題がでそう。
- 子ども自身がたくさん友達を作りたいと言っているから。
- 宮川小学校が素晴らしい施設なので、統合後にも利用してもらいたいが、川添、日進の子達が通学するのは現実的ではないため。川添と日進、三瀬谷と宮川の統合がいいのかと。

(4つの小学校を3つにした方がよいと思う)

- 児童数の減少から、本当ならば、4つの小学校を1つ、もしくは、2つにした方が良いかと思うが、通学距離を考慮すると、1箇所の学校へ集まるのは難しいのでは。ただ、児童数の減少から、現在のままでは厳しいと思う。
- 小学生の長時間通学が負担にならないか心配。保護者がすぐに駆けつけることができる距離がいい。
- 児童数減の為、川添小と日進小の統合が望ましい。現在の子どもが何人いるか(0~15歳の年齢別)をもっと町民に知ってもらい、理解してもらうべき。
- 宮川から日進の距離を考えると、中心に学校を置いたとしても、低学年の子には遠すぎるので3つがよいと思う。
- 地理的に、栃原と大杉からは遠すぎるし、それぞれの地域の事情が異なると考えます。合理的にまとめたくなるのは理解できますが、それは、廃校になった地域それぞれの衰退を加速的に進むのを容認することになります。
- 宮川や三瀬谷地区のことは、深く知らないので何とも言えませんが、川添と日進は、児童がすでに合併で関わっているの、日進と川添が合併してもいいのではと思います。他の子との関わりが少ないと、コミュニケーション能力であったり、いろんなことに対する接し方や対処の仕方を学ぶ機会が減ることが不安です。学力については、先生たちが教えてくれても、人との関わりについては、自分自身が慣れや感じたりして、経験として身につけていくものだと思います。中学校では、すべてが統合された状態だとしても、学年が大きくなるにつれて、思春期というものがあり、いろんな葛藤がある中で、初めてたくさんの人と関わっていくことになり、子供たちも戸惑いが生じるので、なるべく小さい時から、多くの同年代の子たちとの関わりを持って欲しいと思います。

- 通学距離を考えると、小学生なら3カ所に分けたほうが良いと思う。日進と川添は、学童などで一緒に活動もしており、教員不足を考えると合併しても良いのではないか。
- 最初に、複式学級の多い川添と日進を統合して、3つに減らすのがいいと思う。宮川もあと数年して、複式学級ばかりになるのであれば、三瀬谷と統合するといいと思う。
- 一緒に学ぶ同級生は、ある程度人数が居た方が良くと思う。一気に一つにするのは、なかなか難しいかも知れないが、子供の減少を考えると、段階的に少なくしていくしかないと思う。
- 2つや3つぐらいで、通学時間を考慮しつつ再編成するのがよい。また、維持費もかかってくるので、1つでも減らしより良い学校になればいいと思います。

(わからない)

- どの選択をしても、メリット、デメリットがそれぞれあり、どれを優先すべきなのか決めきれないため。
- 大台町はとても広いので、小さな子どもたちに通学距離が長くなるのは、大変な負担になります。小さくとも、魅力ある学校作りを目指して行くことを検討していただきたいです。
- 統合をするにしても、距離的な問題などあるから、どのように統合した方が良いかまではわからない。
- 面積がひろいため、どうやって区分するのが、ベストかわからない。
- 小学生の子供がいなく、各学校の施設や設備がわかりません。どの学校も、統合してもそのまま使える施設なのか、判断ができないためわかりませんにしました。現状の校舎が、今後起こるであろう南海トラフ地震やその他自然災害、夏の異常な暑さなどに対応できていない、もしくは、心配が残るのであれば、統合を機会に、新しい校舎にして欲しいです。子供達の安全が1番に守られる形であることを願います。
- 町内の中でも、各地域で考え方は違うと思うから。宮川地区から大台地区へは、場所によりかなりの時間差があるので、現在より通学時間が長くなるのは困ることが多くなるので、宮川地区は宮川内で通学出来る様にしていきたいです。
- 少人数で何校もあるより、半分(2校)くらいに減らして、統合する方がよいと思う。新校舎をわざわざ建てなくても、現在の校舎を利用すればよいと思う。保護者も反対が必ずあると思うが、少数意見なら納得してもらえないと思う。
- 小学校から中学校まで、クラスの面子が変わらないでずっと同じだと、生徒間でトラブルなどがあると、環境が変わらずにしんどい時が出てくると思うので、小学校を4つを1つにするのではなく、少しでも環境が変わるようにする方がいいのではないかと思います。
- 距離のことや人数のことを考えた時に、誰かの負担が増えることを思うと、ベストな方法がわからない。
- 統合も現状維持も、両方一長一短あるので、わからない
- 町内の子供の数に対して、学校数が多いと思うので、統合は必要だと思うが、地域に小学校がないことによって、過疎化がさらに進むことも考えられるので、慎重に考えて欲しいと思う。また、学区をどのように分けるのかなど、統合の時期などを考えると、どうしていった方がいいのか正直わからない。

（今のままがよいと思う）

- バス通学の危険性を懸念し、徒歩で通える範囲が望ましいため。
- 災害時の避難場所として各地域に校舎があると安心できるため。
- 小学校は、地域の文化や人のつながりを育む大切な場であり、統合によって、その役割が損なわれることを懸念しています。特に、地元の行事や風習に、子どもたちが関わる機会が減ることで、地域のアイデンティティや誇りが失われかねません。また、通学距離の増加や児童数の増加による教育環境の変化も、子どもたちの健やかな成長にとって望ましいとは言えません。統合の必要性については、地域の声を丁寧に聞きながら、慎重に検討すべきだと考えます。
- 災害があった時に、帰れなくなる子や通学方法の安全性を考えた時に、近いほうがいいのかと思う。
- 小学校は少人数でもよい。通学距離を考えると近い学校のほうがよい。スクールバス運転手の問題。中学校からは部活の選択肢がないことや学年数も少ないので統合したほうがよい。
- クラスの人数が少ないことにより、先生がひとりひとり見てくれているから。
- 必ず、誰かが遠くなったり、通学の危険度があがったりすることになる。バスを運行した時、事故が起こってしまったら、自分を守れる行動や体の大きさではない。
- 小学校は、なるべく自宅から近いところが良いと思います。地域の方との繋がりを大切に、心を育てたいです。複式学級など学年を超えた関わりも、小学校ではメリットの方が勝るように思います。
- 地域に小学校があるのは、地域の活性化に必要不可欠。
- 小学校の間は、住んでいる地域の小学校に通いながら、過ごしてほしい。徒歩圏内なので、近くて安心。
- 通学距離を長くすることで、家庭と子供の負担が増える事を危惧する。
- 中学校が統合されるのであれば、小学校は今のままでもよい。
- 人数が増えることに良い意味をあまり見出だせない。田舎ならではの少人数制は、それはそれで素敵な事と思っている。通学時間が長くなるのは良くない。
- 通学距離を考えると、子供の負担が大きい。三瀬谷の小学校のまわりの環境を考えると、宮川小学校なら分かるが、他の地域との差別化になるのか多いに疑問。
- 地域から学校がなくなってほしくない。学校がなくなると過疎化が進み、活気がなくなる。通学時間がかかり過ぎるため、体への負担が大きい。この地域や環境の中で学習して育ってほしい。
- 私は移住者ですが、引っ越しする際に重視した事は、家から小学校と中学校の距離とその周りの環境でした。低学年は、まだまだ小さい子供ですから、通学距離はとても重要だと思います。あとは、地域に小学校がなくなると、地域は衰退の一方です。地域に学校がないところには、人も今後も増えないと思います。
- 宮小は、少人数による問題はそれ程発生していないように思うから。
- 旧宮川の子どもたちが減ってきているが、宮小の校舎が好きだから。自分の子どもにも通わせたいから。
- 小学校のうちは、少人数の方が丁寧な教育が受けられるのではないかと思います。
- 学校を統合した場合、学校がなくなった、または、遠くなった地域の人口減少が進み、より児童数の減少に繋がるから。

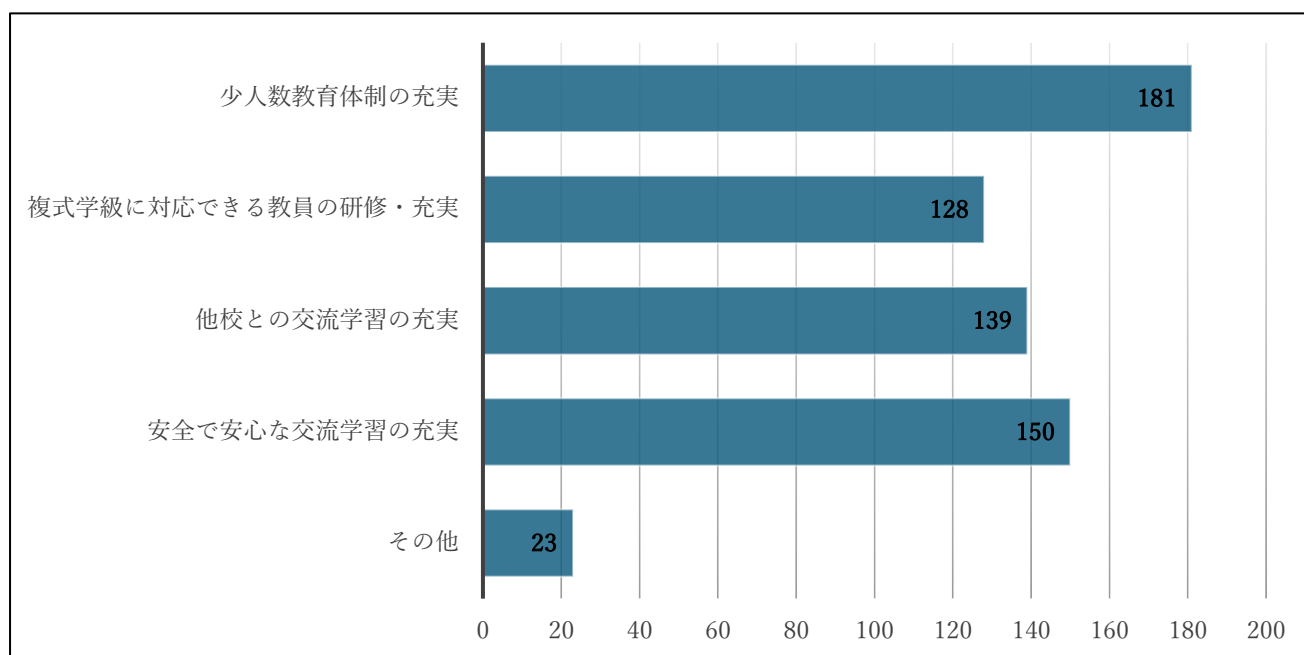
- 1つに統合すると、学校までの距離が遠くなり、基本的にバス通学になってしまう生徒が多く、歩かないので健康面が不安。また、バス通学だと、この前の大台中バスの事故の様に通わすのに不安がある。
- どこかの地区が遠くなってしまい、通うのが大変。バスとかの送迎になって、みんながそろわないと帰れなくなるし。近所で、学校の帰りによっていた習い事とかも行くのが遅くなってしまうと思うから。
- 小学生では、体調を崩す事がまだ多いと思うので、保護者が迎えに行きやすい方がいいと思う。祖父母が迎えに行く場合は、特に、近い方が負担が少ないと思うので。
- 通学距離と時間による。学童の送迎さえ、負担に感じている。
- 生徒数は減少しているが、小学校は少人数制でも良い。一年生から合併している学年は良いが、途中から合併する学年は、いろいろ問題が起きるのではないかと不安があります。
- 年配の運転手の方は、事故の危険が高いから、大切な子供の命を任せる事が不安。小学生では、事故があった時に身を守る事が難しいと思う。実際に、中学生が乗っていなかったとはいえ、事故があったばかりで、このアンケートに怒りを感じる。
- 子供たち同士で、放課後遊んだりできなくなると思うから。

問２１ もしも小学校が統合再編されずに現行のままとした場合、特に重視すべきことはなんですか。

現行の小学校を続ける場合、最も重視されているのは、少人数教育の充実（181件）です。子ども一人ひとりに目が届き、きめ細かな指導を受けられる環境を求める声が強いことが分かります。

次に多かったのは、安全で安心な学習環境（150件）で、通学路の安全、校舎の老朽化対策、災害への備えなど、日々の安全確保が大きな関心事です。さらに、他校との交流学习（139件）への期待も高く、小規模校で不足しがちな多様な人間関係や大人数での活動の機会を補いたいという意図が見て取れます。加えて、複式学級に対応できる教員の研修・充実（128件）も重要で、複式指導のノウハウ、教材やICTの活用、教員同士の連携強化が求められています。

まとめると、現状を活かしながら、①少人数の強みを伸ばす、②安全対策を徹底する、③交流で学びの幅を広げる、④教員の専門性を高める—この四つを柱に進めることが、大台町の子どもたちの学びをより良くする鍵と言えます。



■問２１ 自由意見

○統合しなかった山村にある魅力ある学校への視察や先生方や教育委員会の方々の視野を広げるような研修を希望しますし、わたしたち親も勉強が必要だと思います。統合がすべてではないと考えます。

○現行のままだ、ありえないのではないですか？

○もし、統合再編されなかった場合、特に重視すべきは、統合再編に向けた再検討。

○現行のままだと考えられない。統合しないという選択肢があるのが不思議です。

○多気町も再編しています。大台町も再編できるよう、ご尽力いただけると幸いです。

- そんなことは考えられない。統合再編以外に選択は無いと考えます。
- 少人数教育に積極的な学校は、全国では多数見受けられるので、参考にしながら、大台町で出来る少人数教育に取り組んで頂きたい。インターネット等を活用して、他校との交流や授業など出来ることからどんどん取り入れて頂きたい。
- 他の市町同様、子ども達のことを第一に考えると、統合に向けて行政を進めるべきではないかと考える。
- 保育園から少人数で、そのまま就学されているお子さんも多いかと思います。少人数教室でのメリットデメリットを考慮して、教育活動を行って貰えたらと思います。普段の交流できる人数には限りがあるので、積極的に多数の子どもたちと関わる機会があればと思います。
- まず、統合しないと言う選択肢があることが問題！統合しないのであれば、各地区に小学校を建てると言う事でしょうか？耐震性などの問題が浮き彫りになっているのに、このままの校舎を使用し続けることは、保護者として安心して子供を通わせることが出来ません。いつ南海トラフ巨大地震が発生してもおかしくない状態です。もし、実際に南海トラフ巨大地震が発生して、子供達に万が一のことが起きたら、誰が責任を取ってくれるのですか？目先のことばかりを考えず、行動に起こしていただきたい！
- 複式学級による学習内容に不足がないように教員数を増やしたり、補助教員を増やしてもらうなどしっかり対応してもらいたい。また、人数が少ないためにできないスポーツがあるということが起きないように、他の学校と合同で体育の授業を行うなど特別な配慮がいると思う。
- 町の人口減少や財政を考えると、この選択肢はないと思います。
- 外部から専門的な講師を招き、習い事的な課外活動できる機会を充実させる。
- 統合されないままだと、15歳までひとクラス10人以下のきょうだいのような環境でしかいられない。新しい友達を作るという経験も詰めないし、子ども同士の役割が固定されてしまい、もし、イジメや何かがあった場合も、抜け出せるチャンスがない。統合によって新しい友達を増やすチャンスと刺激を得てもらいたい。

(4) 町内の中学校について

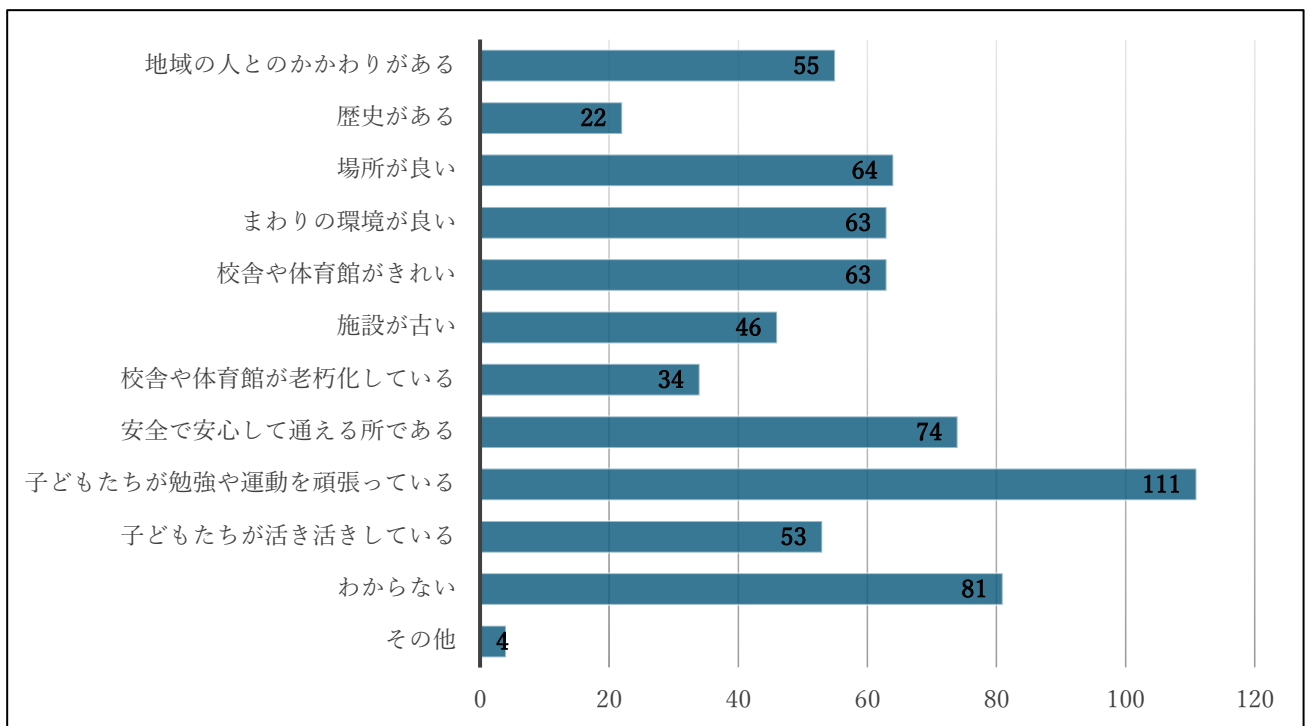
問22 あなたの地域にある中学校をどのように思われていますか。

地域の中学校は、全体として良い印象が多いです。とくに「子どもたちが勉強や運動を頑張っている」(111件)、「安全で安心して通える」(74件)が目立ち、教育活動と安全性への評価が高いことがわかります。

立地や環境も「場所が良い」(64件)、「まわりの環境が良い」(63件)と強みです。校舎については「きれい」(63件)という声がある一方で、「設備が古い」(46件)や「老朽化」(34件)への心配もあり、部分的な更新が必要と考えられます。

また「わからない」(81件)が多いことから、学校の取り組みや成果が十分伝わっていない可能性があります。「地域の人とかかわりがある」(55件)や「歴史がある」(22件)といった地域性は、学校の魅力です。

今後は、施設の計画的な改善と、学校の様子を分かりやすく発信することが効果的です。



■問22 自由意見

○部活の選択肢が限られている。

○校舎に木が使われていて、ぬくもりがあって大台町らしいところが良いです。

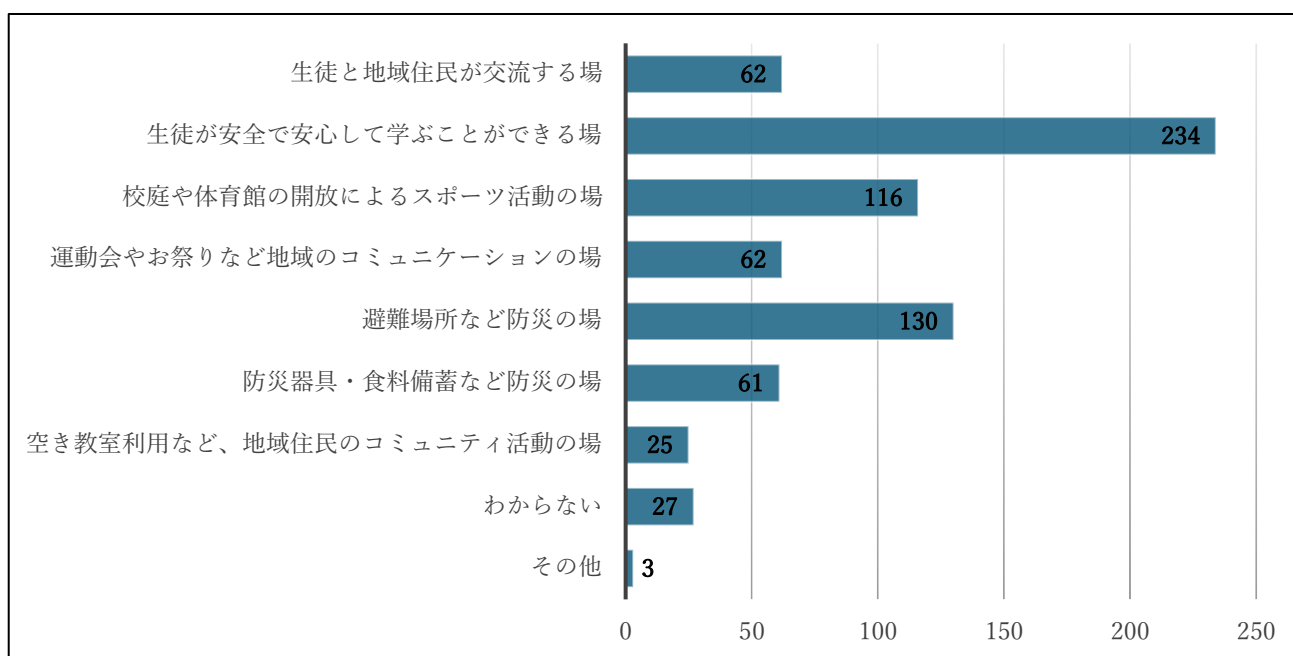
○ごく普通と言って良い、田舎の学校特筆すべき所無し。

問23 あなたの地域にある中学校の役割として、どのようなことをお考えですか。

大台町のアンケートからは、中学校にまず「安全で安心して学べる場」(234件)が強く求められていることが分かります。学びの環境を整えることが最優先の期待です。

次に多いのは「防災の役割」で、避難場所(130件)と備蓄(61件)を合わせて191件。災害時の拠点としての機能に大きな期待が寄せられています。日常の面では、「スポーツ活動の場」(116件)や、「児童・地域住民の交流の場」(62件)、「運動会やお祭りなど地域コミュニケーションの場」(62件)も重視され、学校が健康づくりや世代間交流の中心になることが望まれています。「空き教室のコミュニティ利用」(25件)は件数は少なめですが、校舎資源の活用への関心は一定程度あります。「わからない」(27件)は多くなく、多くの住民が中学校の役割を具体的に思い描いていると言えます。

総じて、中学校には、安心な学びを土台に、防災拠点と交流・スポーツのハブを兼ねる多機能な地域の公共空間としての役割が期待されています。



■問23 自由意見

○子ども達の将来を見出すきっかけ作りの場

○いろんなスポーツなどの団体やサークルの活動の場所として利用してもらって、中学生が放課後そのまま、それらに参加できる形にしてほしい。また、子ども食堂なども併設すると、学生を含め活動の利用者や地域の方々の交流の場にもなると思う。

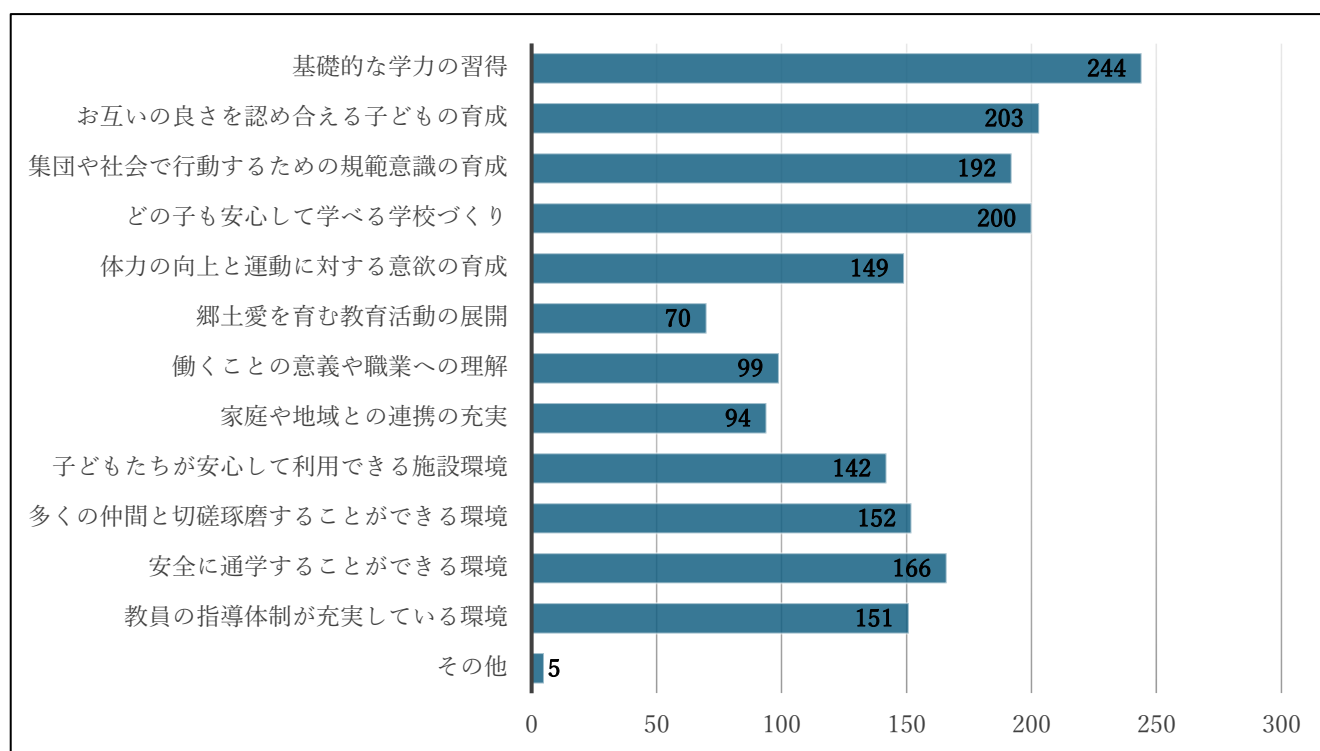
○役割等、大人の言い分は関係ない。子供達第一。様々な価値観、多様な選択肢、教育を受ける権利を最大限にしてやるのが行政の役目。

問24 これからの大台町立の中学校教育において、大切だと思われることはなんですか。

一番多かったのは「基礎的な学力の習得（244件）」で、まずは確かな学力を身につけさせてほしいという願いがはっきり表れました。次いで、「お互いの良さを認め合える子の育成（203件）」「どの子ども安心して学べる学校づくり（200件）」「集団や社会で行動するための規範意識の育成（192件）」が続き、学力だけでなく、人間関係づくりや安心・安全、社会性を重視する声が強いことが分かります。

また、「安全に進学できる環境（166件）」「子どもたちが安心して利用できる施設環境（152件）」「教員の指導体制が充実している環境（151件）」「多くの仲間と切磋琢磨できる環境（152件）」といった、学びを支える体制や環境への期待も大きい結果でした。

一方で、「体力の向上・運動意欲（149件）」「働くことの意義や職業理解（99件）」「家庭・地域との連携（94件）」「郷土愛の育成（70件）」は比較的少ないものの、子どもの成長を広く支える大切な分野です。総じて、確かな学力を土台に、安心して学べる環境と多様な学び・進路の応援を一体的に進めることが求められています。



■問24 自由意見

- 各地域の特色、良さを学ぶこと。他の地域との交流を増やすこと。
- 平等な対応をしてくれる部活環境。ひいきして社会体育から生徒を優遇するのは良くない。
- 運動部と文化部を含めた部活動について、たくさんの種類から選べて、いろんなことに挑戦できる環境。通信教育やプログラミング教育など、先進技術を積極的に利用した教育。有機給食などの食の安全。
- 様々な価値観、多様な選択肢。それには生徒数が絶対的に必要。

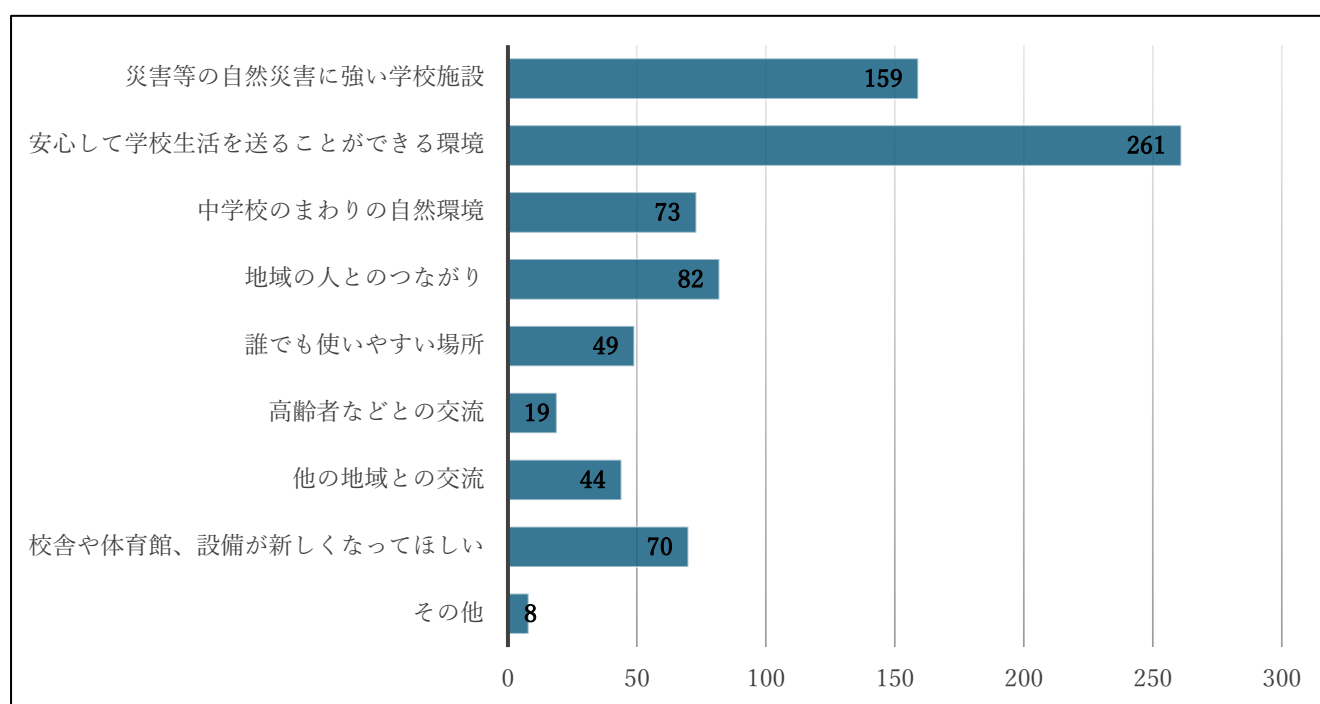
問25 子どもたちのより良い教育環境を考えた時、特に大切にすべきだと考えていることは何ですか。

今回の結果では、「安心して学校生活を送ることができる環境」(261件)が最も多く、安全・安心が子どもや保護者にとって最優先課題であることが明確になりました。

次いで「災害時の自然災害に強い学校施設」(159件)への関心が高く、大台町の地域特性を踏まえた防災・減災機能の強化が強く求められています。

一方で、「中学校のまわりの自然環境」(73件)や「地域の人とのつながり」(82件)、「他の地域との交流」(44件)など、学びの質を高める外部資源の活用にも一定の期待が見られます。

「校舎・体育館・設備の更新」(70件)、「誰でも使いやすい場所」(49件)、「高齢者などとの交流」(19件)は相対的に票数が少ないものの、インクルーシブ教育や世代間交流、学習環境のアップデートといった質的向上の視点として重要です。総じて、まずは安全・防災を基盤に、自然や地域との連携を生かした学びの拡充と、施設のバリアフリー・更新を計画的に進めることが望まれます。



■問25 自由意見

- 都会にはない環境を生かした学習
- 生徒のことを第一に考えてくれる指導者
- 他の生徒との協調性、競争力
- 部活動の充実。先進技術を用いた教育
- 老害大人達は黙って、子供達第一に徹する。

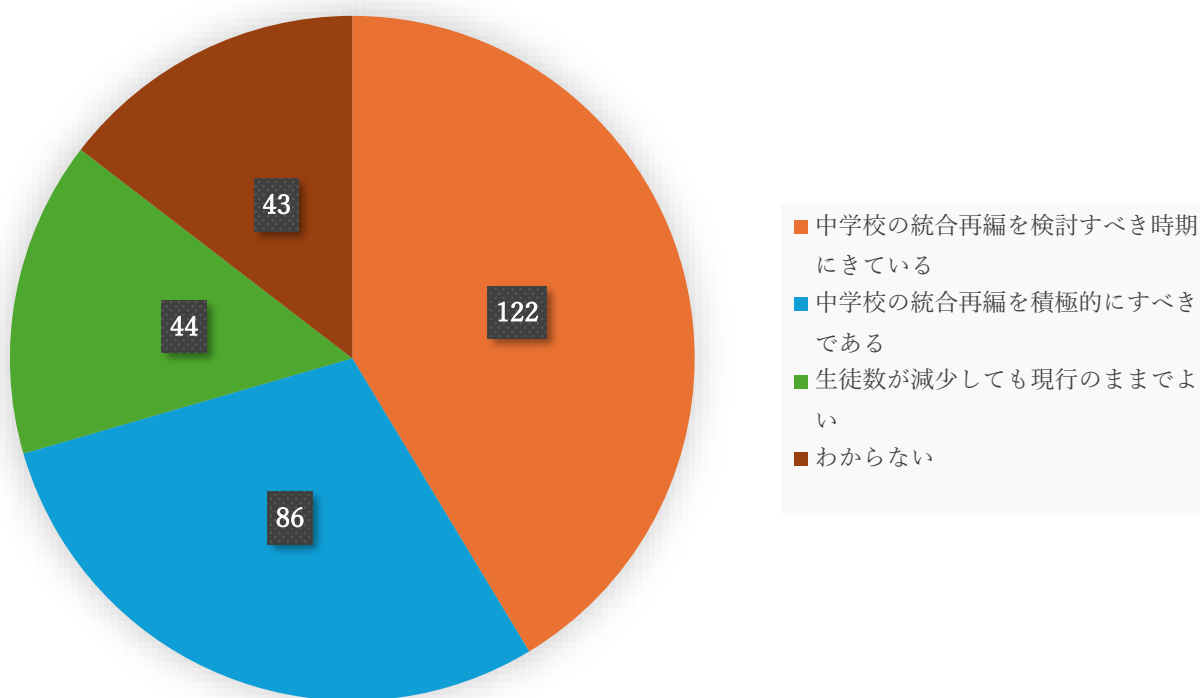
問26 町内の中学校の生徒数が減少しています。生徒数の減少への対応として、望ましいと思われるものはどれですか。

町内の中学校の生徒数減少への対応については、「統合再編を検討すべき時期」が122件で最も多く、「積極的に進める」86件が続きました。合わせると多くの人が統合に前向きで、方向性としては「統合を視野に入れた検討を進めるべき」という流れが見えます。

一方で、「現行のままでよい」44件と「わからない」43件もあり、急ぎすぎず丁寧に進めてほしいという思い、また判断材料が足りないと感じる人が一定数いることも分かります。

統合に前向きな理由としては、授業や部活動の選択肢が増える、友人関係が広がる、教員配置が安定するなどのメリットが考えられます。逆に懸念としては、通学距離の増加、地域のつながりの弱まり、少人数ならではのきめ細かな指導が薄れる心配があります。

今後は、スクールバスなど通学支援、ICT活用、地域行事の継承策といった具体策を示し、教育効果・費用・安全面の比較資料を分かりやすく提示しながら、住民と対話を重ねて段階的に検討を進めることが大切です。

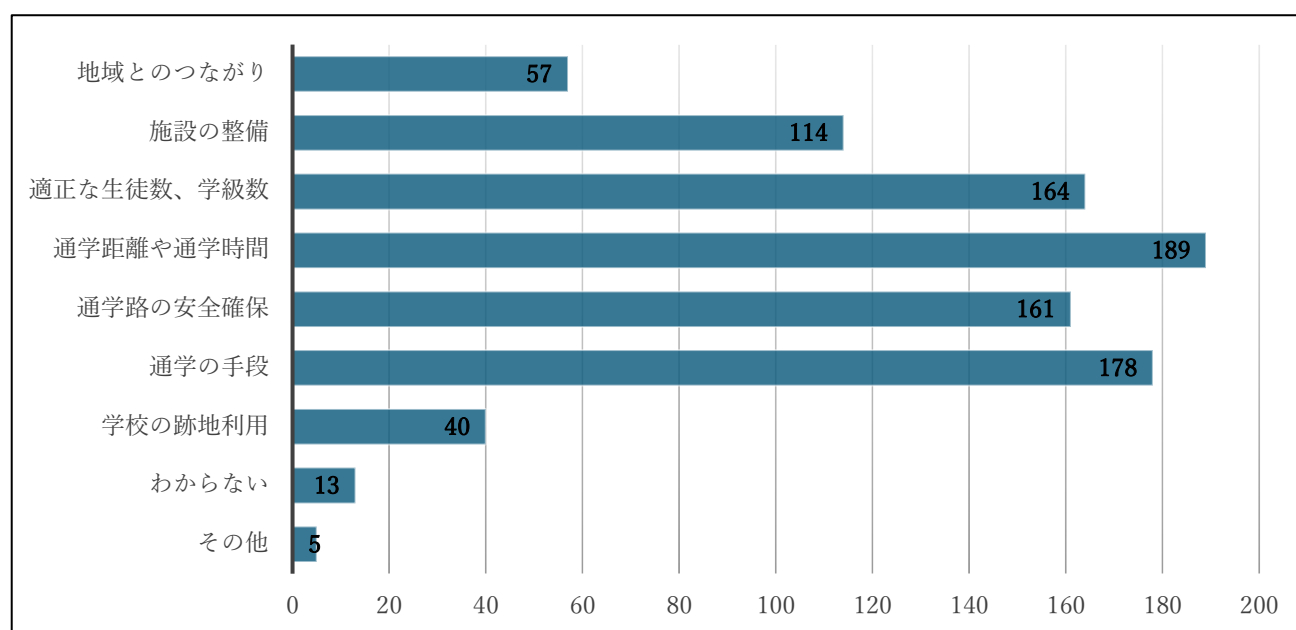


問27 もしも中学校が統合再編されとした場合、特に重視すべきことは何ですか。

中学校を統合する場合に何を大事にするかでは、いちばん多かったのが「通学距離や通学時間」(189件)でした。次いで「通学の手段」(178件)、「適正な児童数・学級数」(164件)、「通学路の安全確保」(161件)が続きます。つまり、統合で通学が長くなる心配が大きく、その時間をどう短く・楽にし、安全をどう守るかが最優先ということです。

学習面では、子どもの人数や学級数が多すぎず少なすぎず、ちょうどよい規模を望む声が多く、友だち関係や学びの機会を広げつつ、過度な大型化は避けたい意向がうかがえます。

「施設の整備」(114件)は大事ではあるものの、通学の負担・安全よりは優先度が下がります。「地域とのつながり」(57件)は数が少なめでも、統合で地域性が薄れる不安の表れで、配慮が必要です。「学校の跡地利用」(40件)は将来の地域づくりにつながる論点です。「わからない」(13件)は情報不足のサインで、丁寧な説明と具体的な案の提示が求められます。結論として、通学の負担と安全、そして適正規模の学びが設計の柱になります。



■問27 自由意見

- 地域に関係なく、子どもたちが自由に学校を選択できるようにしていただきたいです。
- 部活動の選択の幅を広げてあげてください。
- 統合することで、生徒数を増やし、部活動の種類を増やして、できるだけたくさんの選択の機会を与えてあげたい。
- 子供達の教育環境。生徒数、価値観、多様性。

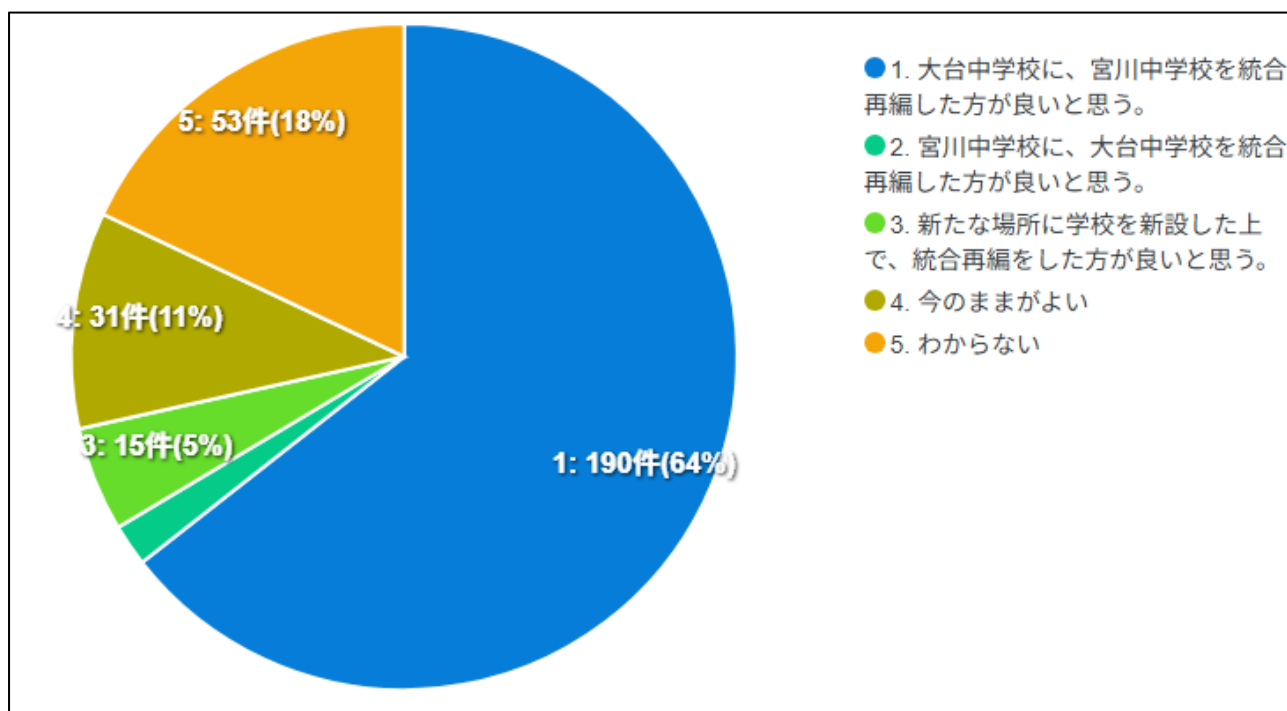
問28 もしも中学校が統合再編されとした場合、大台町全体を考えた時や通学距離などを考えた時、今後、中学校をどのように統合再編することが望ましいと思われますか

中学校の統合については、「宮川中を大台中に統合」が190件で最も多く、はっきりと支持が集まりました。理由としては、今ある校舎や設備を活かしやすい、通学のしやすさや交通手段の見通しが立てやすい、といった現実的な利点が考えられます。

一方で、「大台中を宮川中に統合」は6件と少なく、通学距離の増加などへの不安が影響した可能性があります。「新しい場所に学校を建てて統合」は15件で、用地や建設費、時間がかかる点がハードルと見られます。

「今のまま」は31件、「わからない」は53件あり、現状維持を望む声や、情報が足りず判断を保留している人も一定数います。全体としては統合そのものには前向きな流れがあり、

今後は通学手段の確保、安全対策、学習環境の充実など、具体的な計画をわかりやすく示すことが、住民の納得につながると考えられます。



■問29 自由意見 問28で選んだ理由を教えてください

(大台中学校に、宮川中学校を統合再編した方が良いと思う)

- 宮川中学校は、少なすぎて子供が安心して学べる環境にない、友達も選べる環境にした方がよい。建て直す必要はない、大台中で十分。
- 人口減少の中で、新たに施設を建設すると膨大な費用がかかる。
- 大台町の財政を考えれば、どう考えても新たに建てる案は考えられない。大台警察、消防が近い。防災から考えても、出来るだけ大台中学校に。
- 日進地区から大杉谷地区までの範囲で考えた場合、宮川小学校よりも大台中学校の方が場所的に中心であるから。また、大台中学校に宮川中学校が統合しても、児童数がキャパオーバーにはならないので、わざわざ、お金をかけて新設する必要がないため。もしも、防災面（場所が危険なエリアである、建築物が老朽化している等）に危険や不安がある場合のみ、新設が必要と考える。
- 宮川中学校の施設の老朽化の状況や立地場所における全生徒の通学への負担の度合い（→通学時間や通学の手段、登下校の安全）を考えると、大台中学校への統合がベターだと思うから。
- 大台中学校の周辺に主要な建物が多く、災害があった時など迅速な対応ができると思った為。
- 大杉地区の方は、通学時間がかかるかもしれないが、どうしても、宮川地区よりも松阪方面の大台町地域に居住している方が多いため、大台中学校への統合が妥当と考える。
- 私の区域が宮川なので、宮川の方が良いが集まりやすさを考えると、大台中学校なのかなと思います。
- 大台中は、まだ新しいと思うので、新しい学校を作る予算があるのなら、他の事に使って欲しい。
- バス通学となると思われるが、少ない数を移動させるのが経済的であるため。
- 日進、川添地区からすでに大台中に通学していますし、そのまま宮川地区から通学できるようにするのがよいと思います。
- 通学距離を考えると、2つにした方が良いが、今後の子どもの数を考えると1つにした方が良いと思う。
- 施設の改修も終了したばかりというのと、総合病院や警察署、消防署が集約された地区にあり、防犯や緊急時への対応も、比較的町内でも充実している場所にあると考えられる。また、総合的な予算や人口比率等を鑑みると、一択であると考えます。
- 旧協和中跡地に、新設できたらと思いますが、大谷中は町の真ん中にあり、改装も終わったばかりなので、町の財政を考えると現行利用が現実的だと思います。ただ、真ん中立地は、通学のスクールバスの台数が多くなるのかなと思います。宮川中や旧協和中は、町の端にあるので、それは解消できるかもしれないです。
- 新しい校舎を建てるほどの財政力は、大台町にはない。大台中学校は、宮川中学校に比べて、まだ新しい。かつ教室も余っている。
- 子どもの数が減っていく中で、将来も見据えると、ある程度の人数で学校生活を送る方が子ども達のためではないかと思う。こども達にとって、通学路、通学時間などの負担がなるべくかからないようにしていただければ、既存の学校の活用や新たな場所にこだわりは無い。とにかく、安心安全が最大限に確保できるようにしてもらえれば良いと思います。

- 三瀬谷が距離的に中間となるから。また、大台中学校の施設も古さを感じない。しかし、教室は狭いため、統合するならば建物の増築をすることで教室の数を増やし、少人数クラスが可能となるようにすべき。大台町全体のことを考えるのであれば、決して建て替えなど、経費のかかることは止めるべきであり、足りない部分だけを補う経費を抑えた賢い対応をすべき。
- 宮川中学校の生徒のことを考えると、それぞれの通学路の中間地点に、新しく校舎を建てるのが望ましいが、予算も必要だし、場所も必要になる。だから、現実的には、どちらかの中学校に統合するのがよいだろうと思う。そう考えたときに、利便性が高い大台中中学校に統合した方がよいと思うから。
- 大台町全体を見た場合、最端の方々からみたらちょうど真ん中あたりになるのでは？新校舎を建てるとしても、あのあたりがよいと思う。消防、警察、病院が近く、インターも近くにあるため、何かあった時に素早い対応ができるのではと思います。
- 大台中の方が建物が新しいから。ただ、統合しても部活動の数が減ってしまうので、残念です。
- 宮川中の生徒数の減少数を鑑みると、すぐにでも大台中へ統合すべき。同時に、宮川中跡地利用についても検討すべき。
- 何年も前から、あまりかわりない生徒数です。少なくて、しっかり目が行き届くという良い所もありますが、みえすぎる、密な関係すぎてしまうということもありますので、学習、部活、先生方の負担などを総合的に考えて統合したら良いと思います。
- 宮川中学校の生徒人数も、どんどん少なくなっていく事が予想されるが、現状の大台中学校の規模は、充分統合できるはず。宮川中学校に大台中中学校を統合させるのは、難しいのでは？また、中学校の拠点が宮川中学校になった場合、今ですら親の送迎が必要なが多いのに、日進地区からは遠くなり過ぎる。
- バス通学での時間を考えたときに宮川中学校に統合するのは日進地区の子たちにとって遠すぎると思うから。
- 宮川は、大雨警報で休みになる。体育館や武道場がある。宮川中より設備がよいのは。
- 教員の確保などのためにも、統合するのが良いと考えます。
- 宮川地区の生徒は、通学時間は長くなるが、他地区の生徒のことを考えると、大台中中学校に統合するのが妥当だと思う。
- 宮川中学校の生徒数がこの先10年ぐらい見ても減少しているので、大台中中学校に統合した方がよいと思う。
- 大台中のキャパシティは十分あること、細長い大台町の真ん中に近いこと。この機会に設備は必要に応じて更新して欲しい。
- 通学には大変かもしれないが、他の地区が大台中にまとまるのに対し、宮川中学校だけ、というのがなぜ？と思っている。ずっと同じ環境（クラスメイト）など、クラス替えなどもなく、人間関係の構築などメリットデメリットはどれだけ多いのだろう。大人の都合だけではなく、子どもたちに聞いてもらいたい。
- 大台中学校の生徒数は、宮川中学校の生徒数より4倍程多いのに、その人数をバスで宮川中学校まで通学させることはおかしい！
- 通学距離が遠くなるのは、子ども達にとって負担にもなるとは思いますが、建物の安全面のことも含めて中間にある大台中中学校がよいかなと思います。

- 日進小学校出身の子も大台中へ通っているので、距離や宮中の老朽化を考えると、大台中への早期統合が望ましい。新たな場所へ新設をこの状況で考えても、この先、児童が減り続け、町民が減っていく事を思うと望ましくない。
- 学校に「地域とのつながり」を求めることは、現代においては必ずしも必要ではないと感じています。少子化にともない統廃合が進むなか、すでに自分の住んでいる地域以外の学校に通っている子どもも少なくありませんし、そもそも、学校がある場所には、自然と地域との接点が生まれてくるものです。また、中学校についても、私たちの地域では、大台中学校に通うよりも、実際には、多気中学校の方が距離的に近いという現実があります。そのため、通学距離などを考慮し、どの中学校に進学するかを個別に選べるような柔軟な制度があっても良いのではないかと、以前から感じておりました。もし、これが現行制度や国の方針によって認められていないのであれば、むしろ、地方から声を上げ、制度そのものの見直しを促していくべきだと思います。既存の枠にとらわれず、未来を見据えた柔軟な教育のあり方を考えるべき時代に来ているのではないのでしょうか。前例がないのであればこそ、大台町や多気郡、度会郡がそのロールモデルとなり、新しい仕組みを切り拓いていけたらと願っています。
- 宮川中では人数も少なく、部活動も出来ない状況なので、学校生活の充実を考えると、大台中へ統合する事が望ましいのでは。
- 新しい仲間ができるチャンスにしてほしい。統合後に老朽化している学校を新設し、移設してはと思います。
- 宮川中学校に統合再編するのは、市街地から更に離れてしまうので不便だと思う。大台町の中でも、松阪に働きに出ている人も多いので、迎えに行くことも考えると、出来るだけ市街地に近い方がいいと思う。遠くなってしまうと、移住する人も益々減ってくると思う。
- 新たな学校を建てるには、費用がかかる。大台中は、新しい設備がそろっており、場所も大台町の中心にあるので、こちらに宮中を合併させる形がよいのではないか。
- 単純に児童数が多いのが大台中学校と言う事と、宮川に統合した場合、全生徒をバス通学にする必要があり、通学時間も考えると、子供達への負担が大きいかと思います。もちろん、これは、大台に統合した場合も考えなければいけないことですが…。
- 子供達が、将来身に付けていなくてはならない集団生活の規則みたいなものを、人と交わることで身に付けて欲しい。
- 宮川中に大台中を統合すると、栃原から来る子たちの通学距離がいま以上に時間がかかるようになるから、宮川と大台を統合するなら、大台中に統合した方がいいと思う。
- 小学校はそのままでもいい、中学校は統合した方がいいと思います。学習、部活において、人数が多く競い合いが必要になってくるのではないか。
- わざわざ奥に行く必要がない。スクールバスを出すにしても、宮川中学校から大台中学校に来てもらう方が、少人数でコストもかからない。大台中学校の自転車通学生も、スクールバスになったら、人数が多すぎてバスの運行が無駄になる。
- 距離があることが問題すべきところだが、生徒数が増えることで出来ることの幅が増えるのではないか。部活動など。
- 宮川で大台中からかなり遠い子がいると聞いています。冬はクラブをしても、バス停からの帰り道が暗く危ないと感じます。クマが出ることもあるので、親子さんの気持ちを考えると不安しかないと思います。

（宮川中学校に、大台中学校を統合再編した方が良いと思う）

- 自然環境的に宮川中学校の方が良いと思ったから。
- 大台町が他の地域との差別化を狙って移住を促進したいのであれば、まわりの自然環境は必須であり、その上で、何かに超特化した学校設備と放課後の習い事の充実など、保護者にとって、わざわざ選びたくなる魅力ある学校にしなければ、衰退を辿るのみ。中学校が大台中学校にいくのであれば、宮川に移住してくることはないと思うから。

（今のままだよい）

- 宮川中学校の子供達は、通学に大台中まで通うというのは、朝の時間でかなり早朝に出発しないとダメらしいと聞きました。やはり、距離的にむずかしいかなと思います。
- どちら側の統合にしても遠い。それなら、新たな場所に新設か、今のままで良いと思う。
- 宮川から大台へ、大台から宮川へと考えても、距離が遠すぎるので今のままでいいと思います。
- 災害等の時に、すぐに保護者が駆けつけることができる距離であって欲しい。
- 通学に時間のかかる地域もある。その時間は、学びの妨げにもなってくるかもしれない…。大人数ではなくても、地域との関わりや近隣高校との関わり、社会性は身に付いていくと思います。様々な方たちと関わる機会を持てるようにしていくのが、行政の役目だと思います。なんでも統合したらいいってことでもないと思います。統合して終わりでないですしね。
- 小学校の統廃合と同じで、その地域に次世代を迎える体制がなくなるから。
- この地理的に広い大台町を人数を理由に、さらに1つにしてしまうのは無理があるから。
- 教員の確保ができれば、今のままで良いと思うから。
- 現在のバス通学は、子どもたちの安全と生活リズムを守るうえで、非常に重要な役割を果たしています。大台町の地理的条件や気象状況を踏まえると、他の通学手段では安全性や利便性が損なわれる可能性があります。また、通学環境の安定は、子どもたちの学習意欲や学校生活の充実にもつながっており、現状の体制を維持することが最も望ましいと考えています。地域や保護者の協力体制もすでに整っているため、変更による混乱や負担を避けるためにも、現状維持を強く希望します。
- 宮川の方から1時間もかけて登下校するのは、子供にも運転手にも負担が多すぎる。
- 地域から学校がなくなってほしくない。学校がなくなると過疎化が進み、活気がなくなる。通学時間がかかり過ぎるため、体への負担が大きい。この地域や環境の中で学習して育ってほしい。
- 学校を統合した場合、学校がなくなった、または、遠くなった地域の人口減少が進み、より生徒数の減少に繋がるから。

（新たな場所に学校を新設した上で、統合再編した方が良いと思う）

- 税金の無駄を考えてほしい。
- 建築されて、30年が経過しているため、これからのことも加味した上で、施設の老朽化、耐震性などを考慮し、新校舎でも良いのではと思う。

- 大台中学校を宮川中学校に統合した場合、日進地区にとっては、通学が現在より厳しくなり、逆に、大台中学校に宮川中学校を統合すると、大杉地区の子ども達の通学が厳しくなる。しかし、大台町の行政や今後の発展を考えれば、町の中心である三瀬谷地区に1校建設するか、土地のある川添地区に新設することが望ましいと考える。また、小学校1校、中学校1校、別の土地でなく、大台町の教育施設として、中学校小学校を一つの施設に集約し、スポーツ施設等の施設の充実も図ることも、今後の大台町の進むべき方向の一つではないかと思う。
- 新設せずに統合するのであれば、大台中が望ましいとは思いますが、山際に建っているため、災害時土砂崩れ等の心配があるため。
- 生徒の居住地次第では、大台に通うのが難しい場合も考えられるため、新設又は今ある校舎を改装するべきだと思う。
- 宮川に日進の人が通うのは大変だと思う。宮川の大杉の方が人が、三瀬谷の方まで出てくるのも大変だと思う。ちょうど、端と端の中間に新設するべきだと思う。
- 小さくても魅力ある学校を地域に残し、課外活動や部活動は、2校一緒に行ったり、外部委託を充実させ、先生の負担がないようにします。
- 統合する事に決まったとしても、反対意見はあると思うので、学校自体を新設したら、新しい学校の誕生として受け入れられる人もいると思うから。
- どちらに統合しても、遠距離になる地域は出てくると思う。私立の学校に負けない充実した内容で、選択される学校にして欲しい。交流やオンライン授業などを積極的に取り入れたり、それぞれの学校を訪問したりして、少人数をカバーできる体制を整えないと、先に待ち受けている更なる生徒数の減少に対応できないと思います。将来を見据えて、魅力ある少人数教育で生き残る道を拓いていただきたい。
- 今ある中学校校舎は、老朽化や立地の面で不安だから。統合したら、バス登校の子が増えるので、バスの停留所の整備などをしっかりして欲しい。
- どちらかに「入る」という手段では、入った側が遠慮しがちになるから。

(わからない)

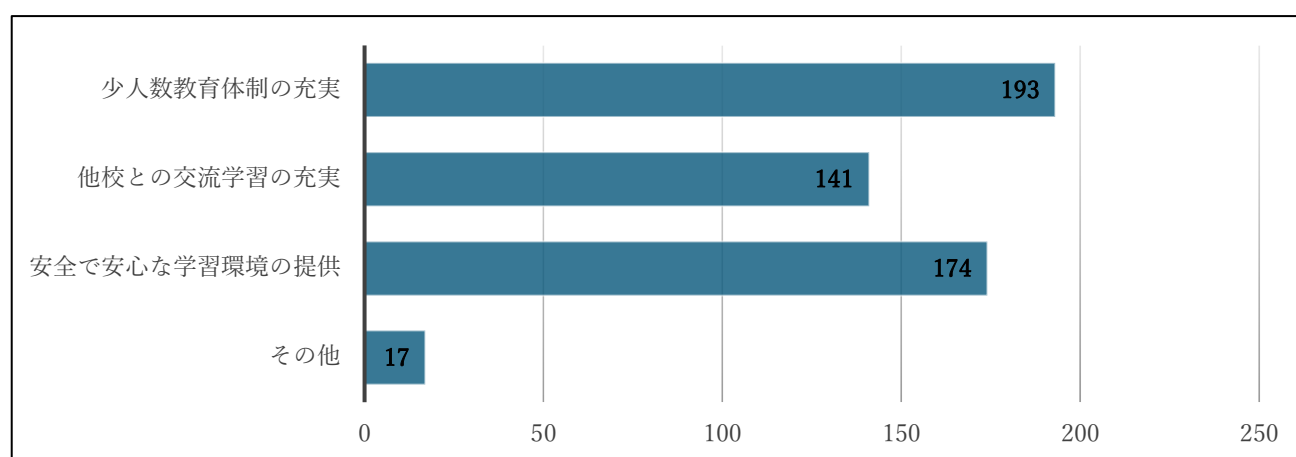
- 立地としては、大台中へ統合した方が良いと思うが、より少子高齢化が進行している地域の宮川中に統合すれば、宮川地域の活性化に繋がるようにも思う。
- 新設ではなく、統合再編に伴った廃校舎を改築などする事も一考かと思う。
- 新たな場所に学校を新設した上で、統合再編をした方が良いと思う。今のままがいい、どちらがいいのかわからないなど、難しいと思ったからです。宮川から大台中に来るのも、遠いところがあると思うので、1時間で片道がつかないのは、通うのが大変だと思います。新たな場所にしても、片道30分程度ならいいと思います。
- 宮川中学校がなくなり、大杉の方から通うとなると、バスでも大台中まで一時間ほどかかるので、中学生が毎日往復約2時間通学にかかるのはしんどいと思います。
- 中学校での登下校の時間の確保、部活のしやすさを考えると分からない。
- 新しい校舎であれば、心機一転でみんな一から始められていいと思いますが、財政的に厳しいと思うし、既存の施設もまだ使えると思うので、既存施設のリニューアルが必要かと思います。場所的には、通学距離を考えたら、やはり大台中が適切かなと考えます。
- どちらの学校を無くさず、選択制がいい案なのではと思う。

○中学校になると、小学校とは違い、交友関係が難しくなってきたり、思春期になり、人格も形成されてきて、難しい年頃になってきます。結局、どの家庭も、我が子を中心に考えますので、自分の子供の学年が多かったらそのままがいいですし、もしも、クラスで1人だけ男の子だった場合、合併を望むと思います。私自身は、地域に学校がない事には大反対ですが、子供の気持ちが1番大切だとは思っています。

問30 もしも中学校が統合再編されず現行のままとした場合、特に重視すべきことは何ですか。

今回のアンケートでは、最も多かったのが「少人数教育体制の充実」(193件)でした。次に「安全で安心な学習環境の提供」(174件)、「他校との交流学习の充実」(141件)と続きます。

中学校の体制を今のまま続けるなら、まずは一人ひとりに目が届く授業づくりや、基礎学力の定着、特性に合った指導など、少人数の良さを生かす取り組みが最優先です。あわせて、安全への関心も非常に高く、校舎の老朽化対策や防災・防犯、通学路の安全、ICTの適切な使い方など、毎日の安心を守る環境整備が欠かせません。また、「他校との交流」は数では少し下回るものの、少人数では得にくい多様な人間関係や刺激を補う大切な手段です。オンラインでの合同授業、部活動や探究の共同実施、合同行事などを計画的に進めることで、学びの幅と社会性を広がられます。つまり、現行体制のもとでは、少人数の強みを伸ばしつつ、安全をしっかり支え、交流で機会を広げる、この三つを同時に進めることが重要です。



■問30 自由意見

- 幅広い部活動ができるよう、部活は2校合わせて行ったり、外部に委託するなど、学校生活が少人数でも、その他の活動は2校で行えるようにしていく。
- 現行のままにする選択肢は、問題を後回しにしているだけ。
- もし統合再編されなかった場合、特に重視すべきは、統合再編に向けた再検討。
- いま、1年生が1クラスで授業をしていることが、いいと思えないので、統合がないことが考えられない。小学校はまだしも、高校以後、将来のことを考える中学時代に、これ以上、他の地域との差を出すべきでないと思う。
- 人数が少ないために、部活動の数が減ってしまわないよう、特別な配慮をしてもらいたい。
- 設備整備の費用
- 町の人口減少や財政を考えると、この選択肢はないと思います。
- 外部から専門的な講師を招き、習い事的など、課外活動ができる機会を充実させる。
- 部活動は、外部コーチをお願いして、先生方の負担を減らす。

■問31 自由意見

- 統廃合は、地域の意向よりも子供たちの事を最優先で考えると、早期に進めるべきだと思います。
- 統合するならば、いつになるか、早めに（2年前くらいには）教えてほしい。
- 統合再編については、少なからず、反対の意見も出てくるのは仕方ないことである。多少強引でも、スピーディーに統合再編に向けて積極的に指揮をとってほしいと考えています。
- 大台町に住み、実際に、今ある小学校・中学校に通っていた者です。再編により自分が学んだ校舎がなくなるのは寂しいですが、その感情と再編については、切り離して考えなければならないと思います。また、地域が廃れるという意見もあるかと思いますが、それは、地域に住む私たち、役場の方々が努力することであって、子どもたちに背負わせることではないのではないかなと思います。子どもたちが学び、人との関わりを学んでいくためにはどうするのがいいのかに、重きを置いて考えて欲しいと思います。
- 大台町の学校再編計画は、時代の流れに乗れてないと思います。一番上の子は、もう20歳です。生まれたころから、話が出ては消えていっています。先送りしすぎていて、本気度は伝わってきません。
- 児童数が減ってきているので、仕方がない事だとは思いますが、今は、統合に向けて説明会が進められているように思います。統合しない場合にも、色々な良い点や出来ることがあると思うので、その事についても話を聞いて考えてみたいです。
- 一番に、子供達の関わりを考えてほしい、友達を選べない少数の環境は可哀想です。不登校が増える原因かと思います。大人の事情は聞いていたら先に進まない。
- プールが壊れていたり、老朽化が目立ちます。早急に改善して欲しいです。プールに関しては、衛生面もとても気になります。
- 児童、生徒の心に寄り添う教師が少なくなった。そういう人材が辞めてしまわないようなサポートをすべきだと思う。
- 何度もこのようなアンケートがありますが、統合賛成、反対等、皆が同じ意見になることは不可能です。難しい問題かと思いますが、子どもの事を第一に考え、良い方法を行政で考え示していただく他に解決策はないのでは。私は、中学校統合希望ですが、統合になってもならなくても、不満がある人は必ず出ます。それぞれの意見は、余程のことがない限り変わらないと思うので、何度も同じようなアンケートを取っても、あまり意味を感じられません。また、大台中と宮川中が統合したら、移住民が減るという意見もあるようですが、今現在、子どもがいる家庭の県外等からの移住者ってたくさんいますか？保育園から中学校3年までの長い長い期間を、全く同じメンバーで過ごすのは、社会性を考えると、メリットよりデメリットの方が多いと感じてしまいます。今まで、しっかり住民の意見を聞いていただいているので、子どもがより良い環境で成長できるような良い方法を考えていただければと思います。
- 大人の都合を一番に考えるのではなく、子どもファーストですすめて欲しいです。学校の跡地は、地域やイベントで活用できると、例え廃校になっても、子どもたちや地域の方の寄り添える場所になると思います。無駄なく上手く活用してください。
- 昔からの地域別のしがらみは捨て、子どもたちを一番に考え、大台町を一つにする（統合）ことが望ましい。子どもが増えないと合併して、また合併しての繰り返しになるかと思います。移住者の受け入れ制度を充実させたり、妊娠出産～子育てに至るまでの補助制度を拡充させることも、大台町に住む子どもを増やす策となり得ると考えます。

- 地域に学校があることは、とても重要ですが、同時に、関わる子どもが少ないことで、子どもたちの視野の狭さを感じています。どちらもカバーするためには、魅力ある学校の内容と同時に、子どもたちがのびのびとできる、放課後時間の充実が大切だと思います。他の市町村では、小学校では、学童が学校内にあることも多いですし、外部講師に依頼して、充実した時間を過ごされているようです。魅力ある市町村にならって、大台町も教育全体を改革し、中学になっても部活動が選択できる体制を作ったり、視野の広い観点で、物事が見られるような内容や講師をおよびし、ここで育つ子どもたちが、将来の大台町を担えたり、戻ってきたいと思えるような教育改革が必要だと感じます。とにかく、町だけで動くのではなく、日本や世界全体を見て、これから子どもたちに必要なことは何なのか、新たな視点を持って方針を決めていただきたいと思います。
- 小学校も中学校も、既存の小学校を利用し、早めに統合した方が良いと思います。
- 現在の児童数では、人数が揃わず部活動が成り立たない、運動会や文化祭等季節の行事も活気がない等、今のままでは、子どもたちにとって十分な教育環境とは言えないと思う。全国的に少子高齢化が進んでおり、生徒数の減少を食い止めることは難しい。今後、大台町内の生徒数が右肩上がりに増えることはないのは、分かりきったことであるから、早いうちに統合の決断をすべきだと思う。
- 色々な理由があり、他校の子と関わりをもちたくない子が少数あるのも、お話として聞いています。あとは、宮川の方達は、距離的に通学時間が長くなってしまったり、身体的に厳しい子もいるのではないのでしょうか？
- まず、小学校の統合について、判断が遅すぎると感じる。大紀町は、早い段階で統合していた。1学年10人いないクラスがあるのに、この状況を放置しているのは子供達の教育に良くないと感じる。クラスで関わる人数が多い方が子供達のためになる！
- 統合は、地域住民からの反対等も多くあり、大変な仕事かと思います。ご苦労をおかけしますが、そこを後回しにせず、積極的に進めていただきたいと思います。高齢者は、自身の地域が寂しくなることしか考えておらず、子どもを第一に考えていない方も多くいる気がしています。親世代からすると、人数が少しでも多い学校に行って、多くの仲間と過ごして欲しいと願っております。どうか声の大きい高齢者ではなく、子どもたちのことを第一に考えた施策の展開をお願いいたします。
- 小学校は、基本的な社会生活の第一歩として、地域との繋がりを感じられる、なるべく近い場所にあってほしいと思います。中学校は、勉強や部活動において、自分と他人との違いを感じ、切磋琢磨しながら成長する時期です。友達づくりにおいても、生徒数がある程度は必要であり、多少遠い地域でも安全に通える手段が確保できれば問題ないかと考えます。
- 人数が減っているので、統合するのは仕方ないことだと思います。ですが、少人数だとしても今、それぞれの学校でしかできないこと、良さ、カラーがあり、統合することで人も増え、いろんな性格の子と出会い、戸惑う子もいるのではないかなと思いますので、友達関係や精神面でのケアが必要だと思います。何十年も前の話になりますが、実際に、私は川添小学校卒業して、大台中学校で三瀬谷小学校の子と一緒にりましたが、今まで過ごしてきた環境の違い？性格の違い？はっきりとは言えませんが、緊張感があったといいますか、少し怖さもしました。一人ひとりしっかり見てあげていただければいいなと思います。
- 日進、川添、三瀬谷、宮川も同じ大台町。少子化のため、学校を統合し、小学校も1校、中学校も1校にするべき。

- 高齢の方々が合併を反対している、母校を残したいという声をよく耳にしますが、そこに毎日通うのは、高齢者ではなく子供たちです。本当に、大台町の子供の今後を考えた上での意見を言えるのは、現役世代だと思っています。少人数の学校であっても、光熱費や人件費は、変わらずかかってくると思うので、統合して、その分のお金を子ども達の学びやスポーツ、学校環境をより良くするための費用に使って頂きたいです。通学についても、このご時世、少し離れた場所の学校への通学になったとしても、バスで移動できた方が親としても安心です。(温暖化、不審者の観点から)よろしくお願い致します。
- 小学校は、複式学級の場合は別ですが、少人数だからこそ、ひとりひと丁寧に勉強を教えてもらい、勉強以外のことも細やかに関わっていただけるのが魅力だと思っています。一方で、中学は、高校入学への土台をつくるために、社会性を身につけてもらいたいですし、保育園から変わらない、数少ないメンバーで過ごすのは、中学生の成長段階で経験してもらいたいことが、ほとんどできないだろうと不安でしかありません。宮中は、大台中と速やかに統合するべきだと思います。反対の方の中には、地域のことを訴える方もみえるようですが、子どもたちの育ちのことを一番に考えるべき問題だと思います。統合できないのであれば、自由に学校を選ばせてください。
- 各学校の卒業生で、様々な分野で活躍している方が沢山お見えになると思います。そう言った方々に、母校の魅力や現在の仕事などを話していただき、地域の特色や魅力に誇りを持てる学校になって欲しいと思います。地域の担い手を育てるためにも、学校は必要不可欠な存在だと感じます。財政的に、行政的に厳しい面があるかも知れませんが、様々な手段を活用して、未来に繋がる学校を存続させて欲しいです。
- 小中一貫学校にしてください。いろいろな年齢・価値観・いじめ・競争に出くわすと考えますが、集団行動で生き抜く力がつけばいいと考えます。世間の理不尽を乗り越える力を育成してほしいです。
- 学校は、地域のコミュニティとしての役割もすごく大きいですが、将来を担う子どもたちの充実した教育の推進という観点も忘れてはいけないと思う。地域の意見は、とても大事だが、将来、予測不可能な時代を生き抜いていかなければならない子どもたちにとって、また、そのような力を子どもたちにつけていかなければならない学校にとって、どうしていくのが一番良いのかを第一に考えて、統合再編の話し合いを進めていってほしい。
- 4年前、ふれあい会館にて、町長、教育長参加のもと、意見交換会を行った際、川添地区は、統合に関していたし方ないが、小学校2校建設については、児童数の激減から反対である事を伝え、その会において、一旦2校建設については白紙に戻す事を約束してもらった。あれから4年経った現在、小学生の人数が4年前よりマイナス53名、さらに5年後には、現在の228名からマイナス67名の221名になる。令和15年には160名となることから、統合に関しては進めるべきだと思うが、校舎2校新設は論外であり、負の遺産を未来の子ども達に残すようなことはするべきではないと考えます。また、今回のアンケート結果や意見は、加筆なく集計し、今回配布した皆さんに必ず回答してください。尚、今回のアンケート結果や意見は、広報等で町民に伝えるなど、保護者だけでなく、大台町の課題としてとらえてください。最後に、今年度発足した検討委員会の進捗状況も、アンケート結果配布とともに一緒に報告してください。よろしくお願い致します。

- 地域のために、学校を残したくないという方の意見もわからなくはないが、子どもたちが、同世代のいろいろな考えや個性と接することで得られることや成長を優先させたいと個人的に思う。保育園からずっと一緒にメンバーで、自分のことを良く知ってくれている人ばかりの環境から、高校で知らない人、大勢の人の中に入っていくギャップも大変だと思う。中学校に入るときに、他校の生徒と一緒にいるという経験がある方がよいと思う。今、宮川中学校は、運動部がテニス部だけという状態だが、それでも、このまま人数が減ると、団体戦に人数不足で出られなくなってしまうことなども考えられる。統合しなかったとしても、子どもたちが心置きなく部活動に取り組めるようにしてあげてほしい。
- 移住してきた方の多くが統合に反対という意見をよく聞くが、そもそも普通の公立小中学校であり、少人数教育に特化しているところではないということをきちんと理解してもらいたい。ずっと住んでいる者としては、部活動も人数が少なく、まともな活動ができない。人間関係も保育園からずっと一緒に、逃げ場もなく、学びも少ないと感じており、どうにかこの状況を打破したいと考えている。統合もしくは、どちらの中学校へ通うか選択できるような制度を求めます。
- 旧協和中学校が統合するときも、何年もかかって統合したので、この問題はかなり難しいと思います。しかし、他の市の中学校、小学校と交流する時があると、大台町の少人数の学校の生徒は、元気がなく生き生きしていない気がします。これから先、高校、大学等へ進んだ時に気おくれしないか心配です。
- 制服、体操服等、必要品が今までの物が使用できる方向で検討してほしい。
- 大台中学校には、大台中学校の良さ、宮川中学校には、宮川中学校の良さがそれぞれにあります。個人的には、多くの仲間に出会うことで刺激されることも増え、大きな行事もさらに活気が出るようになると思います。
- 中学校では、部活が少なすぎる。部活は、自分を出せる一つの間だと思う。自信、力を出す、悔しい思い、そのスポーツについてのルール、生活のメリハリ、スポーツを通して更に仲間が増える。教職員の働き方改革で部活を無くすのなら、外部コーチを呼んで欲しい。そのために、部活費としてお金を払っても良い。個人的な意見ですが。人数が必要なら、学校を統合し、部活ごとにアンケートを取り、人数を確認したらいい。町外中学校と全然違う。ここは孤立している。以前より、生徒に寄り添う先生が減った。少人数の学校ならではの魅力でさえ無くなっている。時期がきたら、子供達は高校に行く。高校では、大勢の生徒がいる。コミュニケーションはとれるのか。生活を考えると、転校もできない。一番、本人が辛そうです。
- 日進小学校は、特にプールなどかなり老朽化しており、早急に、合併なり校舎等の建て替えが必要だと考えます。修繕などで予算を使うより、老朽化を前向きに捉え、早急に子供達が安全に学べる環境の整備を進めていただきたいと思います。
- ずいぶん前から、学校の統合の話は聞きますが、立ち消えのようになってしまいます。大紀町や明和町のように積極的に進めてほしいです。
- 大台町は、豊かな自然の中で、子どもたちが心も体もすこやかに大きくなってほしいです。いつもありがとうございます。私は奈良出身なので、大台町の魅力に感謝しております。先生方に感謝です。
- 豊かな自然や少人数を活かした、きめ細やかな教育を目指してがんばっていただきたい。生徒、先生、保護者、皆が楽しいと思える心豊かな学校であってほしいと思います。

- 廃校は、その地域を衰退させます。統合しても、10年経てばまた次の統合が見えてきて、その地域が限界集落になるのが目に見えています。少人数制で丁寧に見てもらえ、ITを活用して、合同授業など距離を乗り越え、頻繁に学校間の交流をして実際に会えるようにするなど、自然溢れる地域ならではのデメリットを少しでも緩和できればと思います。いまでも地域の方にお世話になり、田んぼや山仕事など体験させてもらう機会がありますが、もう一步踏み込んだ尖った特色を出せたらと思います。プログラミングなのか、アートなのか、英語なのか、植物や生き物に関わることなのか分かりませんが……。例えば、小さな木工から始まって、学年が進むにつれて棚や家具が作れるようになり、中学校を卒業する頃には、みんなで小屋が建てられるくらいになる、など。夢のような話で、理想論ですし、現場は大変、経済的にも困難な話だと思いますが、長い目で見て大台町が衰退するのを止める投資だと思います。統廃合にしても、図書館にしても、保育園からの子育て環境、教育が地域活性の肝だと考えます。そこに、魅力があれば地元の若者も残るでしょうし、移住者も見込めます。現在の移住は、自然環境にひかれていらっしゃる方々が多いと思いますが、ここで子育てしたいと思える文化的環境があればなお良いと思います。まずは、地域内に生きている子どもたちが幸せに暮らせるよう、子どもたちとその世代へのサポートに注力している姿が伝われば、自然と人口流出は止まり、緩やかに人が集まってくるのではないかと思います。
- 統合、人数増幅にこだわり過ぎず、田舎ならではの少人数体制で、生徒一人ひとりに、より充実した対応や学力の向上などに取り組んでいただきたい。
- 小学校の統合をする場合、通学距離が不安である。また、学童の場所も考えてほしい。仕事で松阪・伊勢方面の方も多いため、迎えに間に合う場所にすることも考えてほしい。また、統合しない場合でも、人数が減っているため1人で登校する可能性もある。夏場は暑く、見守る人もいなくなってくるため、通学させるのが不安である。また、中学校では、部活等やりたいことがないため、町外の中学校に通わせる話しを聞く。統合する際は人数が増えるため、生徒がこの中学校でやりたい事が選択できる環境を少しでも整えてほしい。
- 他地域から見て、魅力の有る特色を町を挙げて作るべき。英語教育特区や小中合同校舎等、他府県で参考になる事はあるはず。今は何も誇れる物が無い。過疎が進んでいるなら思い切りやれば良いと思う。結果、移住者も増えて地域の為になるなら、住民としてお手伝いや金銭面含めて協力していきたい。
- 小学校では、勉強や生活指導を、子供の個性に合わせてしっかりみてもらえ、現在の環境をととてもありがたいと思っています。一方で、宮川中学校は、好きな部活動が選べない、友達の幅が広がらず、思春期で過ごす環境として閉塞感を感じます。親や先生より同級生からの影響の方が大きくなる年頃のため、統合して様々な生徒と交流し、共に学ぶ経験が中学生の年代には必要だと思います。早期の統合を望みます。
- どこも少人数になってくのは目に見えていて、例え統合しても、子供が部活などそれぞれにやりたいスポーツを選択できるのかはかなり疑問。地域の人と混ざり合ったり、習い事のように色んな選択肢から子供が選びたい環境にしてほしいが、誰かの声は置いてきぼりになるのも確実。(送迎問題、帰宅時間等) 町がどこまで本気で、移住者を獲得したいのか、どう言う街づくりにしたいのか、子供や大人の意見も踏まえて、そろそろ考えを提示してほしい。
- 子供達が不登校にならないような学校づくりが必要。個人のタブレットがあるのだから、家庭でも授業が受けられる環境を整備した方が良い。

- 小学校は、どこも老朽化がひどい上に、温暖化の影響で、今までのような外での活動が難しくなっています。体育館への冷房設備や、プールを建物の日陰になる場所に作るなど、子供達が学校生活を送る上で安全に活動できる、気温にあった新しい場所が早急に必要になるのではないかと感じています。この少子化、老朽化を前向きに考えて、新しい場所づくりを町と共に、安心して子育てしやすい場所にしていけたら、住んでみたいと思う人も増えるんじゃないでしょうか。
- 複式学級という学習システムが個々の学力の低下に繋がらないかが心配(繋がると思っています)。公立校の義務教育であるのに、生徒の人数の多い少ないで、学習方法が変わるのはおかしいと思う。複式学級になるならば、早急に統合した方が子どもたちのメリットは大きいと思う。通学が長くなるといってもただか 15 分。今後、高校に行けばもっとかかるようになるので、通学時間の長さが統合の可否を決める理由にはならないと思う。
- 私は以前限界集落にすんでいました。今の太田町よりもずいぶん過疎も進んでいました。当然統合の話もあったし、統合で対立する所も見てきました。どの家庭も、子供の事が大切なので、1 番いい選択と思い、合併するしないを回答しているんですが、やはりどの家庭も置かれている状況が違うのでモメるのは当たり前だと思うです。1 番は子供達の気持ち。地域に学校がなくなるのは衰退する一方です。今後太田町としても人口問題は大きな問題です。とても難しい問題ですが、子供達が安心して楽しめる学校生活を望みます。
- 太田から太田までは、長時間かかるので子どもの負担もかかり、危険性も高まるため現行のままの小・中学校がいいと思う。宮川中学校は、健全度も 72 あるので、今後も使用した方がいいと思う。また、少人数での教育の方が良いと思うので、現行のままがいいです。
- 少子化のため、太田町の子どもの数が劇的に増えるということはこの先ありえないと思う。以前のようにとか、現状維持ではなく、モデルケースなどを参考に、どんどん改革してほしい。老朽化に対する修繕費などを考えても、また教員数なども含めてコンパクトにしていくことでコスト面なども変わってくるのではないかな。その分で、子どもたちの学習やケアを手厚くしてもらいたい。お願いします。
- 少人数の学校のメリットもたくさんありますが、川添は他に比べてだいぶ少なくなっているんで、統合するのかなと感じています。バス通学になることも心配なので、安心して登下校できるように考えてくだされば、統合も仕方ないことだと思っています。
- 私は離島育ちで、中学校から船で通学でした。14 人しか同級生はいなかったが、120 程になり、たくさんの新しい友達もできて、部活動もしっかりとできてとても楽しかったです。島の小学校は、数年後複式になり、一人の先生が 2 学年を教える。そうすると、1 学年の授業はプリント学習になり、放置になるから勉強にならなかったそうです。結果、廃校になり、今は小学校から船通学です。私は、複式を経験していないのでわかりませんが、複式になるぐらいなら、早めに統合した方がいいのかなと思います。少なからず、社会に出るためには競争心も必要で、たくさんの人の中で多様な価値観、コミュニケーション能力、人間関係を学ぶのは必要かなと思います。高校進学時に太田町から”外の大きな世界”に出て戸惑うことを減らしてあげたいなと。宮川地区は、大雨警報が出たら帰宅ですが、鳥羽市も離島の子は船が欠航前に、他の子は授業を続けていますが、先に帰宅していたので、太田町も統合したらそんな感じでもいいのでは・・・。

- 少子化のため、大台町の子ども数が劇的に増えるということはこの先ありえないと思う。以前のようにとか、現状維持ではなく、モデルケースなどを参考に、どんどん改革してほしい。老朽化に対する修繕費などを考えても、また教員数なども含めてコンパクトにしていくことでコスト面なども変わってくるのではないかな。その分で、子どもたちの学習やケアを手厚くしてもらいたい。お願いします。
- まず、近隣市町村に比べて、小中学校の再編を考える時期が遅すぎる！行政や議会のスピード感や危機感の無さには少し呆れます。また、耐震性の低い小学校に、児童を通学させることは、保護者として心配です！もし、万が一の事が合ってからでは遅いですし、誰が責任を取るのでしょうか？このことから、学校を統合する事が必然だと考えます！
- 早期に統合再編を進めるべき。スクールバスを補完する町営バスの便も運行するべき。今年長の保育園生がいる家庭です。学童の拡充(町営化と時間延長)も真剣に検討いただきたいです。このままでは他の市町への転出も考えなければいけなくなります。
- 数年前より統合の話(噂)があり、保護者はどう進行しているのだろうかと思っていました。川添小学校、日進小学校の統合についても、話が上がりながらも結局は流れたようですが、このようなアンケートを取るばかりで進みがないのが気になります。中学校でも説明会に参加しましたが、「地域の学校がなくなるのは寂しい」「衰退しているように感じる」など否定的な意見があると見ましたが、否定的な意見が少しでもあれば、また今回も見送りということになるのでしょうか。いつまで同じ内容のアンケートばかりやるのか疑問です。中学校は、部活の地域移行の流れもあるとはおもいますが、いくつもの部活がこの夏で廃部となります。もし、宮川中と大台中の統合が近い時期に予定されていたならば、地域移行の受け皿が町内でないスポーツについては、まだ存続できていたのでは？と思ってしまいます。長年そこに暮らす地域の方の意見も大切ですが、是非、子どもたちや保護者の意見も聞いてもらいたいです。
- 少しでも生徒数を増やして、クラブ活動、学校行事等を活発にして欲しい。人数が少ないと、狭い偏った価値観の中で育つような気がします。
- 地方だからこそ、先進技術を積極的に取り入れた授業で、都市部との教育格差をなくしたい。子供の可能性や、将来の働き方などを見据えて、プログラミング教育などを充実させてほしい。食育や健康、地域の農業の活性化や自給率の向上のためにも、地域の有機食材を使った給食の提供や、有機農業体験などの機会を与えてあげてほしい。文化部、運動部の部活動の種類を増やして、子供が体験できる機会をしっかりと与えてあげて、都市部との体験格差を少なくしてほしい。そのためにも、近隣地域との団体やサークルとの交流や、部活のコーチを雇うなど特別な配慮をしてほしい。早急に対応していただかないと、今の子達は、学校で学ぶ大事な時期を終えてしまいます。どうかよろしくお願いします。
- 保育園児と小学生の子供がいる親として、学校の建て替え等は検討して欲しい。最近、地震の話であったり、本当に他人事ではない自然災害が起こる可能性が高まっている中で、日々子供たちのことを心配して仕事をしています。
- 適切な生徒数で、適切な教育と集団生活が送れるような環境づくりをお願いします。少人数の良さ、一定数生徒数があることの良さ、それぞれのバランスを大事にしてください。
- 子供の数が減っているのが問題ならば、宅地を増やす又は、眠っている空き家を起こし、入居者を増やすなどの対策を立て、過疎化を防ぐ。

- 学校の統合を考える場合、学校が無くなった又は遠くなった地域の人口減少が進みます。それは、大台町全体の人口減少に繋がります。なので、こどもの数が少なくなったから学校を統合しないとではなく、若い人の働き口を増やすことや育児に対する補助金等を町外にアピールしていくことが大事であると考えています。
- 子どもたちの教育は、未来の財産であり、この地域にとって何よりの宝だと私は思っています。私自身もこの地域で生まれ育ち、ここで学んできましたが、都市部と比べて部活動の選択肢が限られていたり、関わる人の数が少なかったりと、教育環境の格差のようなものを感じながら育ちました。その一方で、この地域ならではの豊かな自然の中での体験や、地域の人との深いつながりなど、都市部では得がたい貴重な学びもたくさんありました。だからこそ、未来を担う子どもたちには、もっと広い選択肢の中から、自ら学び方を選び、自分の未来を切り開いていってほしいと願っています。もし現行の制度がその成長の妨げになるのであれば、思い切って見直すべきです。そして、地域の教育を支える立場の方々には、従来の価値観や制度の枠にとらわれることなく、より大きな視点で物事をとらえ、この地域が全国の地方教育のロールモデルとなるような仕組みづくりに取り組んでいただきたいと願っています。
- 小中学校の統合には、該当する保護者やこれから子育てする世代の意見を尊重し、高齢化が進む地域住民の声（統合に反対や慎重意見が多いのでは）は、あまり反映しないことを望みます。児童、生徒ファーストな計画をお願いします。
- 沢山の人達との関わりを持たせてあげてほしい。子供達にとって何が良いかを考えるべき。
- 適正な人数で運営して欲しいので、早く考えてもらえるとありがたい。
- 保育園、小学校、中学校と同じクラスで同じ仲間、小さい時から子供達の中で、知らず知らずのうちに、上下関係、格差がついていきます。そうならないためにも、沢山の人の中なかで、もみ合いながら学校生活を送って欲しいんです。
- たくさんの中学生が、登下校時にいつも自ら気持ちのよい挨拶をしてくれます。思春期、反抗期という難しい年頃にも関わらず、爽やかに地域の人と関わる姿に、我が子もこんな中学生になってほしいなと願いながら、大台町で子育てしたいと感じます。
- 人口減少及び財政上、合併で良いと思います。いつまでもアンケートばかりするのではなく多数をとるなり早く決定していただきたい。
- 大谷町の学校統廃合事案は、スピード感が全くないです。私は子供が3人いますが、20年ほど前、19歳の一番上の子が小学生のころ、日進小と川添小が統合して協和中跡地に小学校ができると聞きました。二番目の中学生の子が小5くらいには入れるとも。結局3番目の子も現行のまま日進小を卒業します。大台町の学校教育を考えるとといった統廃合の話に、何度も参加しました。今回の調査は、20年前(たぶんそれより前から)からデータでわかっていることで、アンケート内容もそのころの話し合いの内容とほぼ同じです。実務実績を残して、問題先送りは終わりにして、実行に舵を切って下さい。
- 自分の中学時代も統合の時期で、私たち（学生）の意見は全く聞いて貰えなかったため、子供たちの意見も取り入れるべきだと思う。
- 私学では無いので難しいかもしれないが、座学は、在宅で授業を受けられるようにして、体育・音楽などは、習い事のように選択して通うのも良いかと思う。他のモデルケースになる様な取り組みを期待します。統合再編するなら、思い切って色々やってみてほしいし、ぜひ挑戦してもらいたい。同様の状況の他の自治体の真似事や、名前と形ばかりの雰囲気だけで、実感・実体を感じられない取り組みなら期待しません。

- 人数が減ってくる中、将来的にいつかは統合になるのなら反対意見があったとしても、何年から統合しますと早く決断してほしいです。いつになっても、必ず反対意見は出てくると思います、しかし、決断を先延ばしにすれば、中学校へ上がる際、制服の新規購入を迷う保護者もいます。特に、兄弟がいる家庭では尚更です。
- 小学生や中学生は、ある程度の人数がいてこそできる学習や遊びがあると思うので、ぜひ統合して欲しいと思います。
- とにかく、人数に対して数が多いと思う。誰もが納得するなんて夢物語である。私は色々やろうとして、町全体が共倒れになるほうが心配です。
- 通学方法について。酷暑やゲリラ豪雨などの急な天候変化、熊や猿の出没など、以前に比べ、子供たちが安全に通学できるとは言い難くなってきている。統合と同時に、できれば、希望する全児童、生徒がスクールバスに乗れるようにしてほしい。
- 少子化は避けられない。合併、プラスリモートによる他校との合同授業等、地域による学力の差を無くす対策を希望します。子供達にとって、指導者は凄く重要です、先生の教育にも力を入れて欲しいです。
- それぞれの学校単位の学力の差と、町民プールや送迎バス、学童などの体制の差が目に見えて話も聞くのでとても気になります。これからまた変わって行くのかもしれませんが。
- 現在、子どもが三瀬谷小学校に登校中です。統合についてではないのですが、支援の生徒が優遇され過ぎている気がします。子どもたちが授業やテストの時に、支援の子だけお菓子パーティーをしたり（先生がお菓子を持ってきた？）、学校にお菓子を持ち込むのは他の生徒は禁止されているのに、そのお菓子パーティーで支援の子たちは自由に飲み食いをしたり、誕生日の時は先生からプレゼントをもらったり・・・。障がいを持つ子をいじめたり、ばかにすることは勿論いけないことだと思いますが、普通の学校に行っている以上、支援の生徒だけ特別扱いするのは違うと思います。ぜひ、教育方針の見直しを検討していただきたい。普通の子も障害を持っている子もみんな平等にしていってほしいです。よろしくお願いします。
- 熱中症対策。登校時は家で対策して行けるが、下校の時は対策が難しい。冷たくなる物を持たせても帰りには温かくなってしまっている。夏場だけでもバス通学にしてあげて欲しい。
- 夏の猛暑が続く日が多くなってきました。プールも出来ない日があり、泳げない子供が増えてきます。プールにテントのような物を設置し、カゲを増やす事はできないでしょうか？
- 小学校の給食について、長期休暇前後の給食なしでの下校の日が多い(長い)気がします。中学校は、始業式当日のみ給食なし下校、翌日から給食ありと聞きましたが、小学校は、それに合わせる事は難しいでしょうか？働き方改革のひとつなのかなとも思いますが、給食があると、働く保護者はとても助かります(たとえ 13 時 30 分下校だったとしても)。小学校は、保育園ではないと言われればそれまでですが、このご時世、共働きでないと生活が成り立ちません。お弁当もしくはお昼ごはんのことを学校にお任せできればとても助かります。長期休暇前後の給食日を増やしてはもらえないでしょうか。
- 速くバス通学の範囲を広げてほしい。毎日、小学校まで送り迎えしているが、午前で終わる日は仕事もあるため、行けないので、熱中症や熊などが心配。
- 通学路付近で熊が出た際に、子どもが怖がっていたので、現在、他の通学路で使っているバスを使用して通学することはできないのか検討してほしいです。

○朝に小学生の子供が歩いて登校しているのを見ます。自然の多い大台町ですから、山の近くを通って通学するルートもあると思います。地域の大人が付き添いで歩いているとはいえ、車通りも少ない道だとかなり危ないのかなと。小学生も送迎にするなどの対策は必要かなと思います。